



シラバス関連 > シラバス参照 > シラバス検索 > シラバス一覧 > シラバス参照

『 全学教育 』

タイムアウトまでおよそ1797秒です。

印刷



シラバス参照

タイトル「**2012年度シラバス**」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_英コミⅢ**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	月1
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20120590005001	科目番号	05900050
授業科目名	●英語コミュニケーションⅢ(2M1)		
編集担当教員	廣江 顕		
授業担当教員名(科目責任者)	廣江 顕		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	廣江 顕		
科目分類	B科目 外国語 既習、外国語科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]322		
対象学生(クラス等)	医学(2M1)		
担当教員Eメールアドレス	ahiroe@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室			
担当教員TEL			
担当教員オフィスマナー	Emailにより質問を受け付ける		
授業のねらい	素早くかつ論理的に書くという作業を通してスピーキングというアウトプットに結びつけることで、英語を書くことと話すことを有機的に関連付ける。また医学用語等に親しむ。		
授業方法(学習指導法)	学生には一定のテーマをあたえ、そのテーマに関して学生は罫線入りのA4用紙2枚程度のエッセイを書く。可能な限り添削指導を行い、academic writingに必要な語彙・文法・パラグラフ意識を持つよう指導する。エッセイを原稿にして学生はプレゼンテーションを行うものとする。プレゼンテーションの際には、発音やイントネーションに留意した指導も行う。		
授業到達目標	短い時間で素早く論理的な思考を可能とし、英語である程度まとまった内容の主張を行えるようになる。		
授業内容	回	内容	
	1	Orientation (self-introduction)	
	2	Euthanasia (1)	
	3	Euthanasia (2)	
	4	Euthanasia (3)	
	5	Presentation (1)&Discussion	
	6	Genetics (1)	
	7	Genetics (2)	
	8	Genetics (3)	
	9	Presentation (2)&Discussion	
	10	Reproduction (1)	
	11	Reproduction (2)	
	12	Reproduction (3)	
	13	Clinical Ethics (1)	
	14	Clinical Ethics (2)	
	15	Presentation (3)&Discussion	
16	Exam		
キーワード	essay writing, medical terminologies, presentation, discussion		

教科書・教材・参考書	プリント配布。
成績評価の方法・基準等	課題の提出(30%)、プレゼンテーションへの取り組み(30%)、Q&Aへの自主的参加度(20%)、試験(30%)
受講要件(履修条件)	出席は定期試験を受験する前提要件となる。4回以上の欠席で定期試験の受験資格を失う。20分以上の遅刻・早退は欠席とみなす。
本科目の位置づけ	英語による一定程度のまとまった主張が行える。
学習・教育目標	基礎的な医学英語を用いて、一般的な主張がプレゼンできるようになる。
備考(URL)	
備考(準備学習等)	英語の辞書を持参すること(電子辞書も可)



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



長崎大学 学務情報システム

NU-Web System



シラバス関連 > シラバス参照 > シラバス検索 > シラバスイ覧 > シラバス参照

『全学教育』

タイムアウトまでおよそ1798秒です。

印刷



シラバス参照

タイトル「2012年度シラバス」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_英コミⅢ**」
シラバスの詳細は以下となります。



戻る



参照URL

学期	前期	曜日・校時	月1
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20120590005003	科目番号	05900050
授業科目名	●英語コミュニケーションⅢ(2T9)		
編集担当教員	前川 智子		
授業担当教員名(科目責任者)	前川 智子		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	前川 智子		
科目分類	B科目 外国語 既習、外国語科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]204		
対象学生(クラス等)	2T9		
担当教員Eメールアドレス	t-mae@asca.iso.jp		
担当教員研究室	非常勤講師控え室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	授業終了後10分		
授業のねらい	自分のこと(詳しい自己紹介)や日常生活(週末のこと、病気や怪我をしたときのこと、休暇中のことなど)を英語で会話したり、人前で大きな声で話せるようになることがねらいである。		
授業方法(学習指導法)	コース前半では詳しい自己紹介をするための準備(ライティングなど)と会話練習を行う。後半では日常会話を学びながら、毎回ペアやグループ内でスキットを読みあつたり、週末の出来事などを話す練習を行う。スピーチの準備として、教科書のスキットを元にエッセイを書き(宿題)、それを応用して自分自身の出来事を英語で書く(宿題)。更に、それを暗記してクラスで発表する(スピーチ)。コースを通して一人5回の短いスピーチを行う。教員は原則として英語で指導するので、説明を聞く際にも集中しておくこと。学生もペアやグループ内で話すときも出来るだけ英語で話すように心がけ、授業時間全体を英語コミュニケーションの時間としたい。overlapping, shadowing を行い、英語らしい発音・イントネーションを習得すると共に、リスニング力も向上させる。		
授業到達目標	自分のこと(出身、クラブ、アルバイト、仕事、趣味、旅行)や家族のことを英語で詳しく書き、人前で堂々と話すことが出来る。週末や休暇中の出来事などを英語で書き、人前で堂々と話すことが出来る。また、その過程において、英語の読解力・語彙力、発音・イントネーション、リスニング力が上達する。		
授業内容	<p>第1回 Orientation 教科書販売、授業の進め方、スピーチの仕方など / Skit 1: Nice to Meet You, Skit2: Family(会話)Junの自己紹介文の書き方、JunとHiroの自己紹介文・自分の自己紹介文を書く(宿題)</p> <p>第2回 Skit 3-6: Clubs and Jobs, Hobbies, Traveling, Food and Cooking、更に長いJunとHiroの自己紹介文・自分の自己紹介文を書く(宿題)</p> <p>第3回 JunやHiroの自己紹介文・自分の自己紹介文の音読練習、Skit1~7練習、スピーチの仕方について</p> <p>第4回 <自分の自己紹介文の最終原稿(パソコンうち)提出> スピーチ1: 自己紹介(一班)</p> <p>第5回 スピーチ1: 自己紹介(二班)Skit8: What's New?, Skit9: How Was Your Weekend? 会話練習、会話文からケン、リカ、ナオト、カオルのことについて(宿題)</p> <p>第6回 Skit 8, 9 の練習、会話練習。上記宿題の音読練習。自分の週末などについて書く(宿題)</p> <p>第7回 会話練習、スピーチ練習</p> <p>第8回 スピーチ2: 週末についてなど(1分以上、全員) Skit 10 を読んで、ヤスとミカについて書く(宿題)</p> <p>第9回 Skit 10: What's Wrong with You? 会話練習。上記宿題の音読練習。自分や家族が病気・怪我などをした時のことを書く(宿題)</p> <p>第10回 スピーチ3: 病気・怪我・失敗談など(1分以上、全員) Skit 12を読んで、マリとユウタについて書く(宿題)</p> <p>第11回 Skit 12: We're Having a Party 会話練習。上記宿題の音読練習。パーティや楽しかったイベントなどについて書く(宿題)</p> <p>第12回 スピーチ4: パーティー、イベント、楽しい話など(1分以上、全員) Skit11を読んで、タロウとアキについて書く(宿題)</p> <p>第13回 Skit 11: What Are You going to Do in the holiday? 会話練習。上記宿題の音読練習。夏休みの計画、将来の計画などについて書く(宿題)</p> <p>第14回 <スピーチ5の原稿(パソコンうち)提出> スピーチ練習</p>		

	第15回 一班:スピーチ5:夏休みの計画、将来の計画などについて(3分以上) 二班:スピーチ観賞と評価(評価レポート提出) 第16回 二班:スピーチ5:夏休みの計画、将来の計画などについて(3分以上) 一班:スピーチ観賞と評価(評価レポート提出)
キーワード	Speaking
教科書・教材・参考書	「English Communication in the Classroom」(開文社出版、前川智子編著)
成績評価の方法・基準等	スピーチ5回(70%=20x2、10x3) / 他人のスピーチ評価レポート(5%) / 課題提出(15%)提出課題は期限厳守のこと / その他の宿題・授業中の活動(10%)
受講要件(履修条件)	原則として全回出席をしなければ単位は成立しない。5回以上欠席すると単位は取得できない。スピーチ発表が5回あるので欠席しないように。スピーチ発表日に病気などやむを得ない理由で欠席した場合は翌週の授業で追試験の機会を設けるが、最終発表欠席は正式な手続きが必要となる。30分以上の遅刻・早退は原則として欠席扱いとする。
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	積極的に話を聞く・話す態度が身に付く
備考(URL)	
備考(準備学習等)	毎回宿題を出すので、それを行った上で授業に臨むこと。提出課題は授業開始前に提出のこと。



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



シラバス参照

タイトル「2012年度シラバス」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_英コミⅢ**」
シラバスの詳細は以下となります。



戻る



参照URL

学期	前期	曜日・校時	月1
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20120590005010	科目番号	05900050
授業科目名	●英語コミュニケーションⅢ(2M2)		
編集担当教員	香川 実成		
授業担当教員名(科目責任者)	香川 実成		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	香川 実成		
科目分類	B科目 外国語 既習、外国語科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]402		
対象学生(クラス等)	2M2		
担当教員Eメールアドレス	jissei@kwassui.ac.jp		
担当教員研究室	非常勤講師控室		
担当教員TEL	09043429702		
担当教員オフィサー	月曜日12:00~12:50 非常勤控室にて		
授業のねらい	G-TELPのスコアからも明らかなように、医学部の皆さんの多くは文法と読解のセクションは満点に近いですが、それと比較してリスニング・セクションのスコアがやや低い。そこでこの授業では、BBCのドキュメンタリー番組を素材とするDVD教材を用い、様々なアクティビティを通して主としてリスニング・スキルの向上を目指します。		
授業方法(学習指導法)	予習を前提とする演習形式で授業を進める。		
授業到達目標	①リスニングについては、英語のリズム、結合・脱落といった現象を確認し、最終的には自分のスピーキングと同様のことを実践できること、②基本語彙については、「音」・「意味・語法」・「スペリング」の3つを統合して使えるようになること、③リーディングについては、個々のセンテンスの(修飾関係の把握に基づく)構造理解のみならず、センテンス間の論理関係とパラグラフ構成にも意識を向けること一以上を目標とする。TOEICスコアなら750点以上が目標。		
授業内容	第2回～第15回の毎回、教科書各ユニットのリスニング教材と練習問題を通して、語彙の習得、内容理解の確認を中心とするリスニング・アクティビティをおこなう。毎回、前週に扱ったリスニング教材についての小テストをおこなう。		
	回	内容	
	1	授業概要と授業計画の説明	
	2	Chapter 1: The Power of the Face	
	3	Chapter 2: Prince William	
	4	Chapter 3: Polar Bears	
	5	Chapter 4: The Taj Mahal	
	6	Chapter 5: Animal Attire	
	7	Chapter 6: Red Kangaroos	
	8	Chapter 7: Queen Elizabeth II	
	9	Chapter 8: Dress to Impress	
	10	Chapter 9: The Statue of Liberty	
	11	Chapter 10: Dream Soundtracks	
	12	Chapter 11: Queen Victoria	
	13	Chapter 12: The Great Wall	
	14	Chapter 13: Attention to Detail	

	15	Chapter 14: All Spun Out
	16	定期試験
キーワード		
教科書・教材・参考書	Akira Morita and others, Challenging BBC on DVD (BBCドキュメンタリーに挑戦) (Seibido)	
成績評価の方法・基準等	授業中のアクティビティへの取り組み 20% 小テスト 30% 定期試験 50%	
受講要件(履修条件)		
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考(URL)		
備考(準備学習等)		



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



長崎大学 学務情報システム

NU-Web System



シラバス関連 > シラバス参照 > シラバス検索 > シラバス一覧 > シラバス参照

『 全学教育 』

タイムアウトまでおよそ1798秒です。

印刷



シラバス参照

LiveCampus

タイトル「**2012年度シラバス**」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_英コミⅢ**」
シラバスの詳細は以下となります。

戻る

参照URL

学期	前期	曜日・校時	月1
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20120590005012	科目番号	05900050
授業科目名	●英語コミュニケーションⅢ(2T8)		
編集担当教員	濱崎 大		
授業担当教員名(科目責任者)	濱崎 大		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	濱崎 大		
科目分類	B科目 外国語 既習、外国語科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]124		
対象学生(クラス等)	2Tg		
担当教員Eメールアドレス	mohican007@hotmail.com		
担当教員研究室	非常勤講師室		
担当教員TEL			
担当教員オフィシアワー	非常勤講師室在中可		
授業のねらい	英語でコミュニケーションを成立させるための様々なスキルを考え、これを実践します。今それぞれが持てる英語力で、最大限のコミュニケーション能力を習得出来るようにします。また、Group Workを通して、コミュニケーションも豊かに出来るよう積極性を持てるようにします。		
授業方法(学習指導法)	理解ある同じ受講生とのコミュニケーションは、プレッシャーを軽減する利点があります。受講生同士ペアやグループを組み、その落ち着いた状況で教科書の会話例をもとにテーマに沿って会話を発展させていきます。		
授業到達目標	簡単な日常英会話を躊躇なく運用出来るようにします。		
授業内容	Text内の、各UnitにはTopicが設けられて基本的なConversationが成されています。そのTopicとConversationを基礎に各自、各グループで考えられるSituationを想定して、Conversationを展開して行きます。日本人に独特な、発音出来るだけNativeに近いものに修正し、これまで学んできた英語をPracticalなものになるような授業にいたします。		
	回	内容	
	1	第1回 Introduction	
	2	第2回 Unit 1 機能編	
	3	第3回 Unit 2 場面編	
	4	第4回 Unit 3 基本的な疑問文のパターン	
	5	第5回 Unit 3 基本的な疑問文のパターン	
	6	第6回 Unit 4 助動詞	
	7	第7回 Mid-Term Examination; Skit Presentation (Group work)	
	8	第8回 Mid-Term Examination; Skit Presentation (Group work)	
	9	第9回 Unit 5 動詞と準動詞	
	10	第10回 Unit 5 動詞と準動詞	
	11	第11回 Unit 6 名詞節を用いた表現	
	12	第12回 Unit 6 名詞節を用いた表現	
13	第13回 Unit 7 ひとくち英会話集		

	14 第14回 Unit 7 ひとくち英会話集
	15 第15回 Final Examination, Group Presentation
	16 第16回 Final Examination, Group Presentation
キーワード	
教科書・教材・参考書	英語コミュニケーション教本(英光社) 各自持っている参考書、辞書(英和、和英)
成績評価の方法・基準等	Class Attendance and Participation: 30% Mid-Term Examination: 20% Final Examination: 50%
受講要件(履修条件)	全講義出席が原則。ただし、正当な理由で欠席する場合は個人指導を行う。(課外クラブ活動に関しては正当な理由とは認められません。) 講義、演習の妨害行為はモラルとして自重してください。目に余る場合は、退室及び辞退を申し入れます。 欠席回数1/3以上は期末試験の受験資格がなくなります。
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	中間、期末テストはGroup Workになり、Group内でのコミュニケーションも非常に重要になります。無断欠席、遅刻などは他の受講者にも非常に迷惑をかけることになるので、必ず責任ある態度で講義に望んでください。



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



長崎大学 学務情報システム

NU-Web System



シラバス関連 > シラバス参照 > シラバス検索 > シラバスイ覧 > シラバス参照

『 全学教育 』

タイムアウトまでおよそ1798秒です。

印刷



シラバス参照

タイトル「2012年度シラバス」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_英コミⅢ**」
シラバスの詳細は以下となります。



戻る



参照URL

学期	前期	曜日・校時	月1																
開講期間																			
必修選択	必	単位数	1.0																
時間割コード	20120590005014	科目番号	05900050																
授業科目名	●英語コミュニケーションⅢ(2T10)																		
編集担当教員	藤本 ゆかり																		
授業担当教員名(科目責任者)	藤本 ゆかり																		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	藤本 ゆかり																		
科目分類	B科目 外国語 既習、外国語科目																		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目																
教室	[全]401																		
対象学生(クラス等)	2T10																		
担当教員Eメールアドレス																			
担当教員研究室	非常勤講師室																		
担当教員TEL	095-819-2078 (全学教育事務室)																		
担当教員オフィスパワー	月曜日1時より																		
授業のねらい	基本的で実用的な英会話の表現を習得し、表現の基礎の定着を図る。話すことと聴くことの技能を身に着ける。ダイアローグの暗記をするのみではなく、構文や文法に留意して、基本的な理解力を確かなものにする。語彙を増やし、文法を理解し表現の感覚を磨く。対話力を向上させ、自分の言いたいことを表現できる豊かな表現力へと応用できる能力を養う。自分の言いたいことを表現できるコミュニケーションに対する意欲を持ち、自主的に話せるようになることを目的とする。英語の歌を通して、英米の文化を学ぶ。																		
授業方法(学習指導法)	英語のフレーズとダイアローグの詳細な解説を行い、文法と構文、及び表現の指導をする。このことによって、ダイアローグを容易に覚えらるようになる。発音の練習をし、表現を声に出して言う。声に出すことで覚えたダイアローグを使用してみる。リスニングの指導を行う。CDを活用し、何度も聴き、リピーティングを行うことで、スキルの定着を図る。																		
授業到達目標	基本的・実用的な英文や英会話の表現を覚え、話すことができる。語彙を増強することができる。英語の構文・文法・表現について理解を深めることができる。美しい発音ができ、リスニングの能力を養う。表現を声に出して述べるができる。基礎を固めた上で、自分の言いたいことを表現できるようになる。語彙を増やし、文法を身に着け、表現の応用ができるようになる。英会話とコミュニケーションに対する関心・興味を持ち、各自が目標を定めて積極的に学習の場を求めていく態度を養う。英語の歌や日常会話を通して、ダイアローグの背景や、英米の文化の理解を深めることができる。また、各自の現在の能力をさらに向上させるようにする。																		
授業内容	<p>英米の歌にみられる英語表現を中心として、対話形式の実践的なダイアローグについて、CDを聴きながら、主要な表現・構文・文法の指導を行う。構文や文法を理解することが、会話での表現の習得においても、容易にして有効であるというアプローチを進めていく。英単語の発音の仕方を指導し、練習を行う。文全体の発音についても指導と練習を繰り返し行い、定着を図る。さらに、ダイアローグの表現を言えるように練習をし、覚え、ひいては話す能力を養う基礎を固めていく。また、話す能力と聴く能力は表裏一体であるという認識に基づいて、リスニングの方法を説明し、実践してみる。英米の歌やダイアローグの背景について解説する。歌を通して、英会話とコミュニケーションに対する意欲をさらに持てるように指導していく。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4月9日 導入・授業内容の説明</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4月16日 UNIT 1・2</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>4月23日 UNIT 3・4</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>5月7日 UNIT 5・6</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>5月14日 UNIT 7・8</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>5月21日 UNIT 9・10</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>5月28日 UNIT 11・12</td> </tr> </tbody> </table>			回	内容	1	4月9日 導入・授業内容の説明	2	4月16日 UNIT 1・2	3	4月23日 UNIT 3・4	4	5月7日 UNIT 5・6	5	5月14日 UNIT 7・8	6	5月21日 UNIT 9・10	7	5月28日 UNIT 11・12
回	内容																		
1	4月9日 導入・授業内容の説明																		
2	4月16日 UNIT 1・2																		
3	4月23日 UNIT 3・4																		
4	5月7日 UNIT 5・6																		
5	5月14日 UNIT 7・8																		
6	5月21日 UNIT 9・10																		
7	5月28日 UNIT 11・12																		

	8	6月 4日	UNIT 13・14
	9	6月11日	UNIT 15・16
	10	6月18日	UNIT 17・18
	11	6月25日	UNIT 19・20
	12	7月 2日	UNIT 21・22・23・24
	13	7月 9日	UNIT 25・26
	14	7月23日	UNIT 27・28
	15	7月30日	UNIT 29
	16	定期試験	
キーワード	英米の歌 / ダイアローグ / 文法の強化 / 英語表現の容易な定着		
教科書・教材・参考書	『英米人・日本人のこころの歌』(CD付き) (小笠原真司 / ウィリアム・コリンズ: 英光社) 英和辞典(電子辞書)を必携すること。		
成績評価の方法・基準等	定期試験を筆記で行います。主に定期試験により評価をします。 それに授業中の活動を加えます。 定期試験90%、授業中の発表や活動10%を基準とします。 また、受講中の態度を非常に重視します。		
受講要件(履修条件)	授業には全回出席しましょう。発音など声を出しての活動は、積極的に参加することを期待します。必ず予習をして臨んで下さい。		
本科目の位置づけ	有用な英語の表現や日常会話を学び、役立てる。		
学習・教育目標	英米の歌と対話形式により、実践的かつ有用な英語表現を身に着ける。		
備考(URL)			
備考(準備学習等)	必ず予習をして授業に出席して下さい。予め英単語の意味を調べておき、問題を解いておきましょう。		





長崎大学 学務情報システム

NU-Web System



シラバス関連 > シラバス参照 > シラバス検索 > シラバスイ覧 > シラバス参照

『 全学教育 』

タイムアウトまでおよそ1799秒です。 [印刷](#)

シラバス参照

タイトル「2012年度シラバス」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_英コミⅢ**」
シラバスの詳細は以下となります。



戻る



参照URL

学期	前期	曜日・校時	月2
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20120590005002	科目番号	05900050
授業科目名	●英語コミュニケーションⅢ(2D1・2)		
編集担当教員	奥田 阿子		
授業担当教員名(科目責任者)	奥田 阿子		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	奥田 阿子		
科目分類	B科目 外国語 既習、外国語科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]322		
対象学生(クラス等)	2D1、2D2		
担当教員Eメールアドレス	a-okuda@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室			
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	質問受付時間:月曜日3限目 教員Eメールアドレス宛に質問も可		
授業のねらい	英語圏への留学、TOEICの受験などを想定し、大学生としてふさわしい実践的な英語の運用能力を養成します。		
授業方法(学習指導法)	この授業では、リスニング及び語彙の基礎力を養成することを目指します。教材の内容理解度及び学習ペース設定のため、リスニングについては1か月に1回程度、語彙については毎週、小テストを実施します。1週間に2、3回の自習が必要です。		
授業到達目標	各単語を逐一聞き取ろうとするのではなく、5語前後から成るフレーズに注目し、そのフレーズ全体の内容を理解するような姿勢でリスニング出来るようになること。また、話者の言葉自体だけでなく、話されている場所、話者の立場、その場の状況など、あらゆる情報を総合して、話者の発話内容を理解できるようになること。		
授業内容	回	内容	
	1	オリエンテーション、教材の選定テスト	
	2	教材の説明、学習方法の説明	
	3	小テスト、グループワーク	
	4	小テスト、グループワーク	
	5	小テスト、グループワーク	
	6	小テスト、グループワーク	
	7	小テスト、グループワーク	
	8	小テスト、発表	
	9	小テスト、グループワーク	
	10	小テスト、グループワーク	
	11	小テスト、グループワーク	
	12	小テスト、グループワーク	
	13	小テスト、グループワーク	
	14	小テスト、グループワーク	
	15	小テスト、発表	
	16	期末試験	

キーワード	
教科書・教材・参考書	Listen to Me！シリーズの教材
成績評価の方法・基準等	期末テスト、小テスト、学習態度を、おおよそ以下の比率で総合的に評価する。 期末テスト:20% 小テスト:30% 自習状況を含む学習態度:50%
受講要件(履修条件)	
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



長崎大学 学務情報システム

NU-Web System



シラバス関連 > シラバス参照 > シラバス検索 > シラバス一覧 > シラバス参照

『 全学教育 』

タイムアウトまでおよそ1799秒です。

印刷



シラバス参照

LiveCampus

タイトル「2012年度シラバス」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_英コミⅢ**」
シラバスの詳細は以下となります。

戻る

参照URL

学期	前期	曜日・校時	月1
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20120590005017	科目番号	05900050
授業科目名	●英語コミュニケーションⅢ(2M3)		
編集担当教員	西原 真弓		
授業担当教員名(科目責任者)	西原 真弓		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	西原 真弓		
科目分類	B科目 外国語 既習、外国語科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]301		
対象学生(クラス等)	2M1		
担当教員Eメールアドレス	nishihara@kwassui.ac.jp		
担当教員研究室	非常勤講師室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスマナー	メールで連絡してください		
授業のねらい	英語運用能力を向上させることを目的とする。特に、英語の4技能を使いながら、リスニング力を向上させることを目的とする		
授業方法(学習指導法)	テキストを中心に、リスニングプロセスのすべての段階を強化する練習を行う。音変化を意識し音声分析する、スキミング、スキヤニング、推測力をつける、表現の幅を広げるなどの練習を毎回行います。		
授業到達目標	速読、及び、長文聴解などにおいて情報を正確に取ることができるようになる。		
授業内容	回	内容	
	1	リスニングテスト Unit 1 What the world needs now	
	2	Unit 2 Young people making a difference	
	3	Unit 3 The horns of a dilemma	
	4	Unit 4 Of nukes and minefields	
	5	Unit 5 The world's hottest issue	
	6	Unit 6 Smart roads and cars	
	7	Unit 7 Languages lost and found	
	8	Unit 8 It's about time	
	9	Unit 9 Where would we be without it?	
	10	Unit 10 Virtually better	
	11	Unit 11 It's never too late	
	12	Unit 12 Good sports	
	13	Unit 13 Global concepts 1 : People	
	14	Unit 14 Global concepts 2 : Places	
	15	Unit 15 Global concepts 3 : Trends	
	16	試験	

キーワード	速読、リスニング力向上
教科書・教材・参考書	Jim Knudsen 緒 『Global Concepts』(南雲堂)
成績評価の方法・基準等	定期試験 80%、授業参加態度、および課題提出 20%
受講要件(履修条件)	
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



タイトル「2012年度シラバス」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_英コミⅢ**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	月2
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20120590005004	科目番号	05900050
授業科目名	●英語コミュニケーションⅢ(2T7)		
編集担当教員	前川 智子		
授業担当教員名(科目責任者)	前川 智子		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	前川 智子		
科目分類	B科目 外国語 既習、外国語科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]204		
対象学生(クラス等)	2T7		
担当教員Eメールアドレス	t-mae@asca.iso.jp		
担当教員研究室	非常勤講師控え室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	授業終了後10分		
授業のねらい	自分のこと(詳しい自己紹介)や日常生活(週末のこと、病気や怪我をしたときのこと、休暇中のことなど)を英語で会話したり、人前で大きな声で話せるようになることがねらいである。		
授業方法(学習指導法)	コース前半では詳しい自己紹介をするための準備(ライティングなど)と会話練習を行う。後半では日常会話を学びながら、毎回ペアやグループ内でスキットを読みあつたり、週末の出来事などを話す練習を行う。スピーチの準備として、教科書のスキットを元にエッセイを書き(宿題)、それを応用して自分自身の出来事を英語で書く(宿題)。更に、それを暗記してクラスで発表する(スピーチ)。コースを通して一人5回の短いスピーチを行う。教員は原則として英語で指導するので、説明を聞く際にも集中しておくこと。学生もペアやグループ内で話すときも出来るだけ英語で話すように心がけ、授業時間全体を英語コミュニケーションの時間としたい。overlapping, shadowing を行い、英語らしい発音・イントネーションを習得すると共に、リスニング力も向上させる。		
授業到達目標	自分のこと(出身、クラブ、アルバイト、仕事、趣味、旅行)や家族のことを英語で詳しく書き、人前で堂々と話すことが出来る。週末や休暇中の出来事などを英語で書き、人前で堂々と話すことが出来る。また、その過程において、英語の読解力・語彙力、発音・イントネーション、リスニング力が上達する。		
授業内容	<p>第1回 Orientation 教科書販売、授業の進め方、スピーチの仕方など / Skit 1: Nice to Meet You, Skit2: Family(会話)Junの自己紹介文の書き方、JunとHiroの自己紹介文・自分の自己紹介文を書く(宿題)</p> <p>第2回 Skit 3-6: Clubs and Jobs, Hobbies, Traveling, Food and Cooking、更に長いJunとHiroの自己紹介文・自分の自己紹介文を書く(宿題)</p> <p>第3回 JunやHiroの自己紹介文・自分の自己紹介文の音読練習、Skit1~7練習、スピーチの仕方について</p> <p>第4回 <自分の自己紹介文の最終原稿(パソコンうち)提出> スピーチ1: 自己紹介(一班)</p> <p>第5回 スピーチ1: 自己紹介(二班)Skit8: What's New?, Skit9: How Was Your Weekend? 会話練習、会話文からケン、リカ、ナオト、カオルのことについて(宿題)</p> <p>第6回 Skit 8, 9 の練習、会話練習。上記宿題の音読練習。自分の週末などについて書く(宿題)</p> <p>第7回 会話練習、スピーチ練習</p> <p>第8回 スピーチ2: 週末についてなど(1分以上、全員) Skit 10 を読んで、ヤスとミカについて書く(宿題)</p> <p>第9回 Skit 10: What's Wrong with You? 会話練習。上記宿題の音読練習。自分や家族が病気・怪我などをした時のことを書く(宿題)</p> <p>第10回 スピーチ3: 病気・怪我・失敗談など(1分以上、全員) Skit 12を読んで、マリとユウタについて書く(宿題)</p> <p>第11回 Skit 12: We're Having a Party 会話練習。上記宿題の音読練習。パーティや楽しかったイベントなどについて書く(宿題)</p> <p>第12回 スピーチ4: パーティー、イベント、楽しい話など(1分以上、全員) Skit11を読んで、タロウとアキについて書く(宿題)</p> <p>第13回 Skit 11: What Are You going to Do in the holiday? 会話練習。上記宿題の音読練習。夏休みの計画、将来の計画などについて書く(宿題)</p> <p>第14回 <スピーチ5の原稿(パソコンうち)提出> スピーチ練習</p>		

	第15回 一班:スピーチ5:夏休みの計画、将来の計画などについて(3分以上) 二班:スピーチ観賞と評価(評価レポート提出) 第16回 二班:スピーチ5:夏休みの計画、将来の計画などについて(3分以上) 一班:スピーチ観賞と評価(評価レポート提出)
キーワード	Speaking
教科書・教材・参考書	「English Communication in the Classroom」(開文社出版、前川智子編著)
成績評価の方法・基準等	スピーチ5回(70%=20x2、10x3) / 他人のスピーチ評価レポート(5%) / 課題提出(15%)提出課題は期限厳守のこと / その他の宿題・授業中の活動(10%)
受講要件(履修条件)	原則として全回出席をしなければ単位は成立しない。5回以上欠席すると単位は取得できない。スピーチ発表が5回あるので欠席しないように。スピーチ発表日に病気などやむを得ない理由で欠席した場合は翌週の授業で追試験の機会を設けるが、最終発表欠席は正式な手続きが必要となる。30分以上の遅刻・早退は原則として欠席扱いとする。
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	積極的に話を聞く・話す態度が身に付く
備考(URL)	
備考(準備学習等)	毎回宿題を出すので、それを行った上で授業に臨むこと。提出課題は授業開始前に提出のこと。

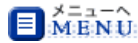


Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



長崎大学 学務情報システム

NU-Web System



シラバス関連 > シラバス参照 > シラバス検索 > シラバスイ覧 > シラバス参照

『 全学教育 』

タイムアウトまでおよそ1798秒です。

印刷



シラバス参照

タイトル「2012年度シラバス」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_英コミⅢ**」
シラバスの詳細は以下となります。

戻る

参照URL

学期	前期	曜日・校時	月2																
開講期間																			
必修選択	必	単位数	1.0																
時間割コード	20120590005015	科目番号	05900050																
授業科目名	●英語コミュニケーションⅢ(2T6)																		
編集担当教員	藤本 ゆかり																		
授業担当教員名(科目責任者)	藤本 ゆかり																		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	藤本 ゆかり																		
科目分類	B科目 外国語 既習、外国語科目																		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目																
教室	[全]401																		
対象学生(クラス等)	2T6																		
担当教員Eメールアドレス																			
担当教員研究室	非常勤講師室																		
担当教員TEL	095-819-2078 (全学教育事務室)																		
担当教員オフィサー	月曜日1時より																		
授業のねらい	基本的で実用的な英会話の表現を習得し、表現の基礎の定着を図る。話すことと聴くことの技能を身に着ける。ダイアローグの暗記をするのみではなく、構文や文法に留意して、基本的な理解力を確かなものにする。語彙を増やし、文法を理解し表現の感覚を磨く。対話力を向上させ、自分の言いたいことを表現できる豊かな表現力へと応用できる能力を養う。自分の言いたいことを表現できるコミュニケーションに対する意欲を持ち、自主的に話せるようになることを目的とする。英語の歌を通して、英米の文化を学ぶ。																		
授業方法(学習指導法)	英語のフレーズとダイアローグの詳細な解説を行い、文法と構文、及び表現の指導をする。このことによって、ダイアローグを容易に覚えらるようになる。発音の練習をし、表現を声に出して言う。声に出すことで覚えたダイアローグを使用してみる。リスニングの指導を行う。CDを活用し、何度も聴き、リピーティングを行うことで、スキルの定着を図る。																		
授業到達目標	基本的・実用的な英文や英会話の表現を覚え、話すことができる。語彙を増強することができる。英語の構文・文法・表現について理解を深めることができる。美しい発音ができ、リスニングの能力を養う。表現を声に出して述べるができる。基礎を固めた上で、自分の言いたいことを表現できるようになる。語彙を増やし、文法を身に着け、表現の応用ができるようになる。英会話とコミュニケーションに対する関心・興味を持ち、各自が目標を定めて積極的に学習の場を求めていく態度を養う。英語の歌や日常会話を通して、ダイアローグの背景や、英米の文化の理解を深めることができる。また、各自の現在の能力をさらに向上させるようにする。																		
授業内容	<p>英米の歌にみられる英語表現を中心として、対話形式の実践的なダイアローグについて、CDを聴きながら、主要な表現・構文・文法の指導を行う。構文や文法を理解することが、会話での表現の習得においても、容易にして有効であるというアプローチを進めていく。英単語の発音の仕方を指導し、練習を行う。文全体の発音についても指導と練習を繰り返し行い、定着を図る。さらに、ダイアローグの表現を言えるように練習をし、覚え、ひいては話す能力を養う基礎を固めていく。また、話す能力と聴く能力は表裏一体であるという認識に基づいて、リスニングの方法を説明し、実践してみる。英米の歌やダイアローグの背景について解説する。歌を通して、英会話とコミュニケーションに対する意欲をさらに持てるように指導していく。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4月9日 導入・授業内容の説明</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4月16日 UNIT 1・2</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>4月23日 UNIT 3・4</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>5月7日 UNIT 5・6</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>5月14日 UNIT 7・8</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>5月21日 UNIT 9・10</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>5月28日 UNIT 11・12</td> </tr> </tbody> </table>			回	内容	1	4月9日 導入・授業内容の説明	2	4月16日 UNIT 1・2	3	4月23日 UNIT 3・4	4	5月7日 UNIT 5・6	5	5月14日 UNIT 7・8	6	5月21日 UNIT 9・10	7	5月28日 UNIT 11・12
回	内容																		
1	4月9日 導入・授業内容の説明																		
2	4月16日 UNIT 1・2																		
3	4月23日 UNIT 3・4																		
4	5月7日 UNIT 5・6																		
5	5月14日 UNIT 7・8																		
6	5月21日 UNIT 9・10																		
7	5月28日 UNIT 11・12																		

	8	6月 4日	UNIT 13・14
	9	6月11日	UNIT 15・16
	10	6月18日	UNIT 17・18
	11	6月25日	UNIT 19・20
	12	7月 2日	UNIT 21・22・23・24
	13	7月 9日	UNIT 25・26
	14	7月23日	UNIT 27・28
	15	7月30日	UNIT 29
	16	定期試験	
キーワード	英米の歌 / ダイアローグ / 文法の強化 / 英語表現の容易な定着		
教科書・教材・参考書	『英米人・日本人のこころの歌』(CD付き) (小笠原真司 / ウィリアム・コリンズ: 英光社) 英和辞典(電子辞書)を必携すること。		
成績評価の方法・基準等	定期試験を筆記で行います。主に定期試験により評価をします。 それに授業中の活動を加えます。 定期試験90%、授業中の発表や活動10%を基準とします。 また、受講中の態度を非常に重視します。		
受講要件(履修条件)	授業には全回出席しましょう。発音など声を出しての活動は、積極的に参加することを期待します。必ず予習をして臨んで下さい。		
本科目の位置づけ	有用な英語の表現や日常会話を学び、役立てる。		
学習・教育目標	英米の歌と対話形式により、実践的かつ有用な英語表現を身に着ける。		
備考(URL)			
備考(準備学習等)	必ず予習をして授業に出席して下さい。予め英単語の意味を調べておき、問題を解いておきましょう。		





シラバス関連 > シラバス参照 > シラバス検索 > シラバスイ覧 > シラバス参照

『 全学教育 』

タイムアウトまでおよそ1798秒です。

印刷

タイトル「2012年度シラバス」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_英コミⅢ**」
シラバスの詳細は以下となります。

学期	前期	曜日・校時	火2
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20120590005009	科目番号	05900050
授業科目名	●英語コミュニケーションⅢ(2M5)		
編集担当教員	川島 浩勝		
授業担当教員名(科目責任者)	川島 浩勝		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	川島 浩勝		
科目分類	B科目 外国語 既習、外国語科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]302		
対象学生(クラス等)	2M5		
担当教員Eメールアドレス			
担当教員研究室	長崎外国語大学 3階334研究室		
担当教員TEL	095-840-2000(内線334)		
担当教員オフィスアワー	授業終了後、質問を受けつける。また、話し合いにより、後日、時間を設定する場合がある。		
授業のねらい	英語によるコミュニケーションを円滑に行うのに必要とされる口語英語の理解能力の基礎を作る。		
授業方法(学習指導法)	様々なタスクを用い、リスニングにフォーカスをあてた授業を行う。受講者が自己のリスニング能力を客観的に把握・理解できる場面が用意され、同時に、リスニングの学習法を学べるように授業が組み立てられている。		
授業到達目標	本授業の到達目標は、1)口語英語のスピード・イントネーション・リズムに対応できる、2)リスニングに対応できる語彙数を増やす、3)英語のミニマルペアーの聞き分けができる、4)英語のミニマルペアーを正しく発音できる、5)英語の連続音を正しく理解し、聞き取ることができる、である。		
授業内容	回	内容	
	1	授業方針の説明・英語力診断テスト	
	2	アメリカのドラマを題材にしたリスニングと口語英語の理解・整理1	
	3	アメリカのドラマを題材にしたリスニングと口語英語の理解・整理2	
	4	アメリカのドラマを題材にしたリスニングと口語英語の理解・整理3	
	5	アメリカのドラマを題材にしたリスニングとリスニングに対応した語彙力のアップ1	
	6	アメリカのドラマを題材にしたリスニングとリスニングに対応した語彙力のアップ2	
	7	アメリカのドラマを題材にしたリスニングとリスニングに対応した語彙力のアップ3	
	8	これまでの授業のまとめ	
	9	アメリカのドラマを題材にしたリスニングと母音・子音のミニマルペアーの整理・理解1	
	10	アメリカのドラマを題材にしたリスニングと母音・子音のミニマルペアーの整理・理解2	
	11	アメリカのドラマを題材にしたリスニングと母音・子音のミニマルペアーの整理・理解3	
	12	アメリカのドラマを題材にしたリスニングと連続音の整理・理解1	
	13	アメリカのドラマを題材にしたリスニングと連続音の整理・理解2	
	14	アメリカのドラマを題材にしたリスニングと連続音の整理・理解3	
	15	アメリカのドラマを題材にしたリスニングと連続音の整理・理解4	
16	学期末試験		
キーワード	口語英語・リスニング・語彙力・ミニマルペアー・連続音		

教科書・教材・参考書	基本的にはプリント教材を配布するが、第1回目の授業で実施する英語力診断テストの結果によっては、副教材を購入する場合がある。
成績評価の方法・基準等	"レポート20%・学期末試験80%とする。なお、欠席1回でマイナス7点(正当な理由がある場合は考慮する)となる等の「授業ルール」があるので注意すること。詳細は、第1回目の授業で配布する資料を参照すること。 "
受講要件(履修条件)	
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



シラバス関連 > シラバス参照 > シラバス検索 > シラバスイ覧 > シラバス参照

『全学教育』

タイムアウトまでおよそ1799秒です。 [印刷](#)タイトル「2012年度シラバス」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_英コミⅢ**」
シラバスの詳細は以下となります。

学期	前期	曜日・校時	火2
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20120590005018	科目番号	05900050
授業科目名	●英語コミュニケーションⅢ(2M6)		
編集担当教員	西原 俊明		
授業担当教員名(科目責任者)	西原 俊明		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	西原 俊明		
科目分類	B科目 外国語 既習、外国語科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]322		
対象学生(クラス等)	2M16		
担当教員Eメールアドレス	t-nishi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室			
担当教員TEL	095-819-2095		
担当教員オフィスアワー	火曜日12:50~13:30 他は、only by appointment		
授業のねらい	基礎的な英語運用能力を高めることを授業のねらいとする。特に、音声言語によるコミュニケーション能力向上を目指す。また、リスニング教材・リーディング教材として医学英語にふれる。		
授業方法(学習指導法)	授業の前半では、日本人学習者が抱えるリスニング上の問題点を理解する訓練、速読の訓練、表現力を養うPlain Englishによる表現練習を行う。授業の後半では、前半で行う訓練を発展させたauthenticな教材・題材を用いた訓練を行う。英語音声学・応用言語学・言語学等の知見を取り入れ、ペアワークやインフォメーションギャップを用いたコミュニケーション活動を中心に行う。医学的内容を扱ったテキストを使用する。		
授業到達目標	授業を通して、種々の速読のスキル、リスニングストラテジー、英語によるコミュニケーション活動に慣れ、基礎的なコミュニケーション能力を身につけることを目標とする。また、基礎的な医学英語に関わる語彙、表現を身につける。		
授業内容	英語の獲得をスキルの獲得ととらえて、スキル獲得のための訓練を様々な手法を用いて行う。		
	回	内容	
	1	4月10日 第1回 オリエンテーション 授業の進め方、及び授業で取り上げるスキルの概要説明	
	2	4月17日 第2回 英語のリズム(1)、速読(phrase reading)とペアワーク(1)、医学英語(1)	
	3	4月24日 第3回 Voice Aerobics、医学英語(2)	
	4	5月1日 第4回 リズムユニットの理解とシャドーイング(1)、医学英語(3)	
	5	5月8日 第5回 リズムユニットの理解とシャドーイング(2)、医学英語(4)	
	6	5月15日 第6回 弱く発音される音、医学英語(5)	
	7	5月22日 第7回 インフォメーションギャップによるペアワーク(1)、映画による聞き取り(1)、	
	8	5月29日 第8回 聞こえなくなる音、医学英語(5)、速読(2)	
	6月5日		

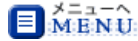
	9	第9回 インフォメーションギャップによるヘアワーク(2), 医学英語(6)
	10	6月12日 第10回 グループによるディスカッション(1), 速読(3)
	11	6月19日 第11回 なくなる音, 医学英語(7), 速読(4)
	12	6月26日 第12回 ひとつになる音, インフォメーションギャップによるヘアワーク(3)
	13	7月3日 第13回 つながる音, 医学英語(8), 速読(5)
	14	7月10日 第14回 医学英語(9), 速読(6)
	15	7月17日 第15回 Review, 今後の学習の仕方
	16	
キーワード	医学英語、音変化、速読	
教科書・教材・参考書	English for Medicine(金星堂)、及びプリント教材。	
成績評価の方法・基準等	教員評価分【まとめテスト(30%)、小テスト(60%)、積極的な授業への参加(10%)等を総合的に判断する。小テストは医学英語表現を対象として毎回行う。また、まとめテストは、3回実施する。まとめテストは、シャドーイング練習の効果を見るテストを2回、医学英語表現のテストを1回実施する。	
受講要件(履修条件)	毎回、復習を行うこと。	
本科目の位置づけ	英語コミュニケーションの基礎的能力を身につけると同時に、学部教育への橋渡しとしての医学英語にふれる。	
学習・教育目標	基礎的医学英語に関わる表現等を身につける。また、大学レベルの英語に必要なスキルを身につける。	
備考(URL)		
備考(準備学習等)	毎回実施される医学英語の小テストに備えた準備をすること。授業で紹介される聞き取りのこつ等を配布される電子化教材を用いて必ず復習すること。	





長崎大学 学務情報システム

NU-Web System



シラバス関連 > シラバス参照 > シラバス検索 > シラバス一覧 > シラバス参照

『 全学教育 』

タイムアウトまでおよそ1799秒です。

印刷



シラバス参照

LiveCampus

タイトル「2012年度シラバス」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_英コミⅢ**」
シラバスの詳細は以下となります。



戻る



参照URL

学期	前期	曜日・校時	火2								
開講期間											
必修選択	必	単位数	1.0								
時間割コード	20120590005019	科目番号	05900050								
授業科目名	●英語コミュニケーションⅢ(2M4)										
編集担当教員	小笠原 真司										
授業担当教員名(科目責任者)	小笠原 真司										
授業担当教員名(オムニバス科目等)	小笠原 真司										
科目分類	B科目 外国語 既習、外国語科目										
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目								
教室	[全]124										
対象学生(クラス等)	2M4										
担当教員Eメールアドレス	ogasa-s@nagasaki-u.ac.jp										
担当教員研究室	環境科学部1階										
担当教員TEL	095-819-2094										
担当教員オフィサー	火3 水3 木3										
授業のねらい	英語でのコミュニケーション活動がスムーズにできるように、基礎的な英語の発音やリズム練習を行います。さらに、リスニングストラテジーに基づいたトレーニングを行い、英語の歌を利用してリスニングの力をつけるとともに、リピーティングを用いた構文練習を行い、自信を持って英語を発信できるようにします。										
授業方法(学習指導法)	演習形式で行います。指定されたテキストは、決められた範囲を予習しておくことが必要です。家庭でテキスト付属のCDを利用して、十分練習していただくを要求します。歌のテキストは、授業時にリスニングをしてもらい、重要表現を積極的に覚えてもらいます。また、2回程度、プレゼンテーション用のスピーチ用の英文の原稿を書いてもらい、ペアやグループでの英語によるスピーチ練習をします。										
授業到達目標	テキストの中の重要な英語の構文は、授業中指定されたものはすべて覚えて頭の中に内在化し、自然と発話できるレベルまでになります。英会話レベルを超えて、少し長いレベルの英語も発話できるようにします。また、基本的なリスニングストラテジーを身につけてもらい、簡単な英語ニュースや英語の歌なら、内容の概要を聞き取れるようにします。また、簡単なプレゼンテーションを、自信をもって英語でスピーチできるようにします。										
	<p>毎回、授業の最初には、テキストを用いて、話すための大切な英語構文を整理しながらCDを聞いて用いて、英語を繰り返す練習を行います。これは、リピーティング練習といい、英語の構文を内在化する(身につける)には効果的な練習方法です。この練習を20分程度行い、その後、リスニングストラテジーに基づき、リスニング用の英語の歌を用いて、リスニングのトレーニングを行います。さらに、応用練習として、ペアやグループになってもらい、課題として作成したプレゼンテーション用の原稿を用いてのスピーチ練習を行います。もちろん、この原稿を書くための指導も行います。この授業に関しては、決して受身的な態度で授業に参加しないでください。授業の効果を上げるためにも、学生は極力欠席を避け、積極的に授業に参加してください。毎回、課題がでますので、なによりも家庭学習をきちんとすることが大切です。学生の積極的な取り組みを期待します。真剣に授業に参加し、家庭学習もきちんとすれば、必ず英語の力は向上します。がんばってください。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>オリエンテーション リピーティング練習の体験 テキスト 機能編:質問する、依頼する、確認する等 英語の歌 1 2</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>リピーティング練習1 テキスト 機能編:あやまる、感謝を表す、賛成する等 英語の歌 3</td> </tr> <tr> <td></td> <td>リピーティング練習2</td> </tr> </tbody> </table>			回	内容	1	オリエンテーション リピーティング練習の体験 テキスト 機能編:質問する、依頼する、確認する等 英語の歌 1 2	2	リピーティング練習1 テキスト 機能編:あやまる、感謝を表す、賛成する等 英語の歌 3		リピーティング練習2
回	内容										
1	オリエンテーション リピーティング練習の体験 テキスト 機能編:質問する、依頼する、確認する等 英語の歌 1 2										
2	リピーティング練習1 テキスト 機能編:あやまる、感謝を表す、賛成する等 英語の歌 3										
	リピーティング練習2										

授業内容	3	テキスト 場面編:基本情報を語る 英語の歌 4	
	4	リピーティング練習3 テキスト 場面編:趣味・クラブ・バイトを語る 英語の歌 5	
	5	リピーティング練習4 テキスト 場面編:勉強・夢を語る 英語の歌 6	
	6	リピーティング練習5 テキスト 場面編:勉強・夢を語る 英語の歌 7	
	7	リピーティング練習6 テキスト 場面編:友人のことを聞く 英語の歌 8 スピーチ練習課題A作成指導	
	8	リピーティング練習7 テキスト 場面編:授業情報を聞く 英語の歌 9 スピーチ練習課題A提出	
	9	リピーティング練習8 テキスト 基本的な疑問表現を使いこなす 英語の歌 10 スピーチ練習課題Aを用いたペア練習	
	10	リピーティング練習9 テキスト 基本的な疑問表現を使いこなす 英語の歌 11 スピーチ練習課題Aを用いたペア練習	
	11	リピーティング練習10 テキスト 基本的な疑問表現を使いこなす 英語の歌 12 日本文化語彙学習1	
	12	リピーティング練習11 テキスト 助動詞の気持ちをつかむ 英語の歌 13 日本文化語彙学習2	
	13	リピーティング練習12 テキスト 助動詞の気持ちをつかむ 英語の歌 14 日本文化語彙学習3 スピーチ練習課題B作成指導	
	14	テキスト 助動詞の気持ちをつかむ 英語の歌 15 日本文化語彙学習4 スピーチ練習課題B提出 ペア練習	
	15	テキスト いろいろな場面でのダイアログ 英語の歌 16 スピーチ練習課題B ペア練習	
	16	定期試験	
	キーワード	Repeating, Pair Work, Listening Strategies	
	教科書・教材・参考書	教科書(テキスト): English Communication for Self-Expression -Life,Culture and Medicine- (EIKO-SHA) (CD付) 1,620円 歌で学ぶ英語コミュニケーション(英光社) (CD付き) 1,440円 (上記2冊を生協で購入して授業に参加してください)	

成績評価の方法・基準等	成績評価は、 ○定期試験50%、小テスト10%、授業中の発表10%、プレゼンペーパー30%で行います。
受講要件(履修条件)	全回出席が原則。教科書も必ず購入すること。
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



シラバス関連 > シラバス参照 > シラバス検索 > シラバスイ覧 > シラバス参照

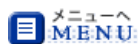
『 全学教育 』

タイムアウトまでおよそ1799秒です。 [印刷](#)タイトル「2012年度シラバス」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_英コミⅢ**」
シラバスの詳細は以下となります。

学期	前期	曜日・校時	木2																						
開講期間																									
必修選択	必	単位数	1.0																						
時間割コード	20120590005005	科目番号	05900050																						
授業科目名	●英語コミュニケーションⅢ(2L2)																								
編集担当教員	藤内 則光																								
授業担当教員名(科目責任者)	藤内 則光																								
授業担当教員名(オムニバス科目等)	藤内 則光																								
科目分類	B科目 外国語 既習、外国語科目																								
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目																						
教室	[全]322																								
対象学生(クラス等)	2La																								
担当教員Eメールアドレス	fujiuchi@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp																								
担当教員研究室	非常勤講師控室																								
担当教員TEL	095-840-2000(内線335)																								
担当教員オフィサー	外語大335研究室にて随時・要確認																								
授業のねらい	この授業では、伝達手段としての英語の基本的な技能と、特に読解能力と聴取能力の相関関係を解説した後、読解と聴解の能力を総合的に向上させる訓練を行う。最終的には、「読んで分かる英語」から「話して通じる英語」へと、受講生の英語力を向上させる。																								
授業方法(学習指導法)	CALL教室の機材を適宜活用し、与えられた英語のテキストの聴解に音読を加えた訓練方式。																								
授業到達目標	CNN放送を聞いて内容を説明できる程度の英語運用能力の獲得を目的とする。																								
授業内容	<p>内容の編集 教科書は主教材と副教材の二種類を使用する。 授業開始当初は副教材を用い、基本的な英語の聴解とディクテーション、適宜発音指導を行い、採点結果を出席した証拠として回収するとともに、提出物として平常点に加算する。 主教材は、主に現代日本の時事に関するNHK BSのニュースを題材にしたDVD教材。第1回目のオリエンテーションにて受講生のリクエストを募り、以降、そのリクエストどおりに授業を進行させる。教科書にある英作文を課題として課し、提出させる。受講生は主教材付属のDVDを見て、事前に予習をすること。 授業の進行が明確に分かっているので、欠席者は次の授業の準備をすること。DVDを見る装置が自宅にない場合でも、図書館を利用するなどの方策を自分で考えること。教科書は設問に解答するだけでなく、本文の音読を予習や復習に取り入れること。1回視聴して内容を理解出来る程度の復習を前提にします。授業も最終試験も難しいので、常に復習を怠らないように。 定期試験 16回目開講時</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4/12 オリエンテーション、座席決定、教科書販売、期末試験の仕様発表、講義の心得確認</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4/19 副教材 Lesson 1、主教材 教科書 Unit 1</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>4/23 副教材 Lesson 2、主教材 教科書継続、または新章へ</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>5/10 副教材 Lesson 3、主教材 教科書継続、または新章へ</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>5/17 副教材 Lesson 4、主教材 教科書継続、または新章へ</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>5/24 副教材 Lesson 5、主教材 教科書継続、または新章へ</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>5/31 副教材 Lesson 9、主教材 教科書継続、または新章へ</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>6/7 副教材 Lesson 14、主教材 教科書継続、または新章へ</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>6/14 副教材 Lesson 17、主教材 教科書継続、または新章へ</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>6/21 副教材 Lesson 18、主教材 教科書継続、または新章へ</td> </tr> </tbody> </table>			回	内容	1	4/12 オリエンテーション、座席決定、教科書販売、期末試験の仕様発表、講義の心得確認	2	4/19 副教材 Lesson 1、主教材 教科書 Unit 1	3	4/23 副教材 Lesson 2、主教材 教科書継続、または新章へ	4	5/10 副教材 Lesson 3、主教材 教科書継続、または新章へ	5	5/17 副教材 Lesson 4、主教材 教科書継続、または新章へ	6	5/24 副教材 Lesson 5、主教材 教科書継続、または新章へ	7	5/31 副教材 Lesson 9、主教材 教科書継続、または新章へ	8	6/7 副教材 Lesson 14、主教材 教科書継続、または新章へ	9	6/14 副教材 Lesson 17、主教材 教科書継続、または新章へ	10	6/21 副教材 Lesson 18、主教材 教科書継続、または新章へ
回	内容																								
1	4/12 オリエンテーション、座席決定、教科書販売、期末試験の仕様発表、講義の心得確認																								
2	4/19 副教材 Lesson 1、主教材 教科書 Unit 1																								
3	4/23 副教材 Lesson 2、主教材 教科書継続、または新章へ																								
4	5/10 副教材 Lesson 3、主教材 教科書継続、または新章へ																								
5	5/17 副教材 Lesson 4、主教材 教科書継続、または新章へ																								
6	5/24 副教材 Lesson 5、主教材 教科書継続、または新章へ																								
7	5/31 副教材 Lesson 9、主教材 教科書継続、または新章へ																								
8	6/7 副教材 Lesson 14、主教材 教科書継続、または新章へ																								
9	6/14 副教材 Lesson 17、主教材 教科書継続、または新章へ																								
10	6/21 副教材 Lesson 18、主教材 教科書継続、または新章へ																								

	11	6/28 副教材 Lesson 19、主教材 教科書継続、または新章へ
	12	7/5 副教材 Lesson 21、主教材 教科書継続、または新章へ
	13	7/12 副教材 Lesson 22、主教材 教科書継続、または新章へ
	14	7/19 副教材 Lesson 23、主教材 教科書終了
	15	7/26 G-TELP実施とまとめ
	16	8/2 定期試験 90分、提出物最終締め切り
キーワード		
教科書・教材・参考書		主教材：What's on Japan 6(金星堂) 副教材：Short Listening for Travel(成美堂)
成績評価の方法・基準等		全て主教材より 定期試験70%(単語理解8%・聴解 8%、本文内容ディクテーション 21%(部分点なし)、内容理解23%、課題英作文 10% (部分点あり)) 平常点30% 内訳(G-TELP成績換算 20%、英作文提出と副教材解答結果提出10%を、30%頭打ちで計算)
受講要件(履修条件)		教科書を購入し、英和辞典を必ず携行して授業に臨むこと。
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		英語の実用的運用能力を、訓練を通じて向上させる。また、英語の自学に必要な勉強・訓練方法も伝授する。実際に英語の実力を付けることで教科書の内容を理解させるのが目的なので、授業の予復習をしない学生の単位成立を保証しない。
備考(URL)		
備考(準備学習等)		DVDを見て、放送を一通り音読で真似てみる程度の事前訓練をしてください。





タイトル「**2012年度シラバス**」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_英コミⅢ**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	木2																												
開講期間																															
必修選択	必	単位数	1.0																												
時間割コード	20120590005006	科目番号	05900050																												
授業科目名	●英語コミュニケーションⅢ(2L1)																														
編集担当教員	山口 敦子																														
授業担当教員名(科目責任者)	山口 敦子																														
授業担当教員名(オムニバス科目等)	山口 敦子																														
科目分類	B科目 外国語 既習、外国語科目																														
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目																												
教室	[全]301																														
対象学生(クラス等)	2L1																														
担当教員Eメールアドレス																															
担当教員研究室	非常勤講師控室																														
担当教員TEL	095-846-0084																														
担当教員オフィスアワー	授業終了時																														
授業のねらい	世界情勢や文化、身近な問題まで幅広い内容を伝える海外のニュース番組をDVDで視聴しながら、リスニング力を強化する。またニュース英語に良く使われる構文や表現を学ぶことで、内容をすばやく把握する力を身につけ、国際的な視野の拡大に繋げたい。																														
授業方法(学習指導法)	イギリスの代表的なニュース番組であるBBCニュースのビデオ教材を視聴しながらリスニング練習と大まかな内容把握を行い、ニュースの要旨を作成する。付属のDVDでの予習を前提とする。																														
授業到達目標	ニュース英語のリズムや速度に慣れ、リスニング力を向上させる。現代の様々な社会問題に関するキーワードを習得しながら、ニュースの内容を大まかに把握することができるようにする。																														
授業内容	<p>テキストの各ユニットの中から学生にとって興味深い内容を持つニュースを扱う。毎回テキスト付属のDVDでニュースクリップを視聴し、リスニング問題の予習しておく。授業でニュースクリップを視聴しながらリスニング問題の解答を確認する。ニュースの本文を完成させ、おおよかな内容把握を行う。次にニュースに使われた重要な単語と5W1Hに関する問題演習を行うことで細部の理解を目指す。最後はニュースの要約文を完成させ、内容理解と新しい表現の確認をする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>イントロダクション</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>Olympic Tickets on Sale: リスニング演習と内容把握</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>Olympic Tickets on Sale: 総合問題演習と要約文の完成</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>Free from House Arrest: リスニング演習と内容把握</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>Free from House Arrest: 総合問題演習と要約文の完成</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>Wikipedia—10 Years Old: リスニング演習と内容把握</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>Wikipedia—10 Years Old: 総合問題演習と要約文の完成</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>Children as News Reporters: リスニング演習と内容把握</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>Children as News Reporters: 総合問題演習と要約文の完成</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>Bio-diversity at Risk: リスニング演習と内容把握</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>Bio-diversity at Risk: 総合問題演習と要約文の完成</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>Tobacco Displays Banned: リスニング演習と内容把握</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>Tobacco Displays Banned: 総合問題演習と要約文の完成</td> </tr> </tbody> </table>			回	内容	1	イントロダクション	2	Olympic Tickets on Sale: リスニング演習と内容把握	3	Olympic Tickets on Sale: 総合問題演習と要約文の完成	4	Free from House Arrest: リスニング演習と内容把握	5	Free from House Arrest: 総合問題演習と要約文の完成	6	Wikipedia—10 Years Old: リスニング演習と内容把握	7	Wikipedia—10 Years Old: 総合問題演習と要約文の完成	8	Children as News Reporters: リスニング演習と内容把握	9	Children as News Reporters: 総合問題演習と要約文の完成	10	Bio-diversity at Risk: リスニング演習と内容把握	11	Bio-diversity at Risk: 総合問題演習と要約文の完成	12	Tobacco Displays Banned: リスニング演習と内容把握	13	Tobacco Displays Banned: 総合問題演習と要約文の完成
回	内容																														
1	イントロダクション																														
2	Olympic Tickets on Sale: リスニング演習と内容把握																														
3	Olympic Tickets on Sale: 総合問題演習と要約文の完成																														
4	Free from House Arrest: リスニング演習と内容把握																														
5	Free from House Arrest: 総合問題演習と要約文の完成																														
6	Wikipedia—10 Years Old: リスニング演習と内容把握																														
7	Wikipedia—10 Years Old: 総合問題演習と要約文の完成																														
8	Children as News Reporters: リスニング演習と内容把握																														
9	Children as News Reporters: 総合問題演習と要約文の完成																														
10	Bio-diversity at Risk: リスニング演習と内容把握																														
11	Bio-diversity at Risk: 総合問題演習と要約文の完成																														
12	Tobacco Displays Banned: リスニング演習と内容把握																														
13	Tobacco Displays Banned: 総合問題演習と要約文の完成																														

	14	Schoolchildren and Sleep: リスニング演習と内容把握、
	15	Schoolchildren and Sleep: 総合問題演習と要約文の完成
	16	定期試験
キーワード	ニュース英語、リスニング	
教科書・教材・参考書	Understanding the News in English 9 (『DVDでBBCニュースを見て、聞いて、考える』) 金星堂	
成績評価の方法・基準等	授業への積極的な取り組み状況(発表)20%、定期試験 80%、	
受講要件(履修条件)	毎回予習して授業に臨むこと	
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考(URL)		
備考(準備学習等)		



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



長崎大学 学務情報システム

NU-Web System



シラバス関連 > シラバス参照 > シラバス検索 > シラバス一覧 > シラバス参照

『 全学教育 』

タイムアウトまでおよそ1798秒です。 [印刷](#)

シラバス参照

LiveCampus

タイトル「2012年度シラバス」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_英コミⅢ**」
シラバスの詳細は以下となります。



戻る



参照URL

学期	前期	曜日・校時	木2
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20120590005007	科目番号	05900050
授業科目名	●英語コミュニケーションⅢ(2P1)		
編集担当教員	上村 俊彦		
授業担当教員名(科目責任者)	上村 俊彦		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	上村 俊彦		
科目分類	B科目 外国語 既習、外国語科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]302		
対象学生(クラス等)			
担当教員Eメールアドレス	yandi@sun.ac.jp		
担当教員研究室	非常勤講師控え室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー			
授業のねらい	英語の4技能(「読み」、「聞き」、「書き」、「話す」)の向上のための演習をおこなう。		
授業方法(学習指導法)	英文テキストと音声CD教材を使用して、英文の大意を取りながら読むこと(Extensive Reading)や英語音読(Shadowing)の演習をおこなう。また、基本的な構文や出現頻度の高い語彙を用いた英文作成(Writing)や発話の演習をおこなう。		
授業到達目標	中学・高校で学習した英語の基本的な構文やコミュニケーション必須語彙に習熟し、英語の発信技能の向上を目指す。		
授業内容	回	内容	
	1	Introduction	
	2	Unit 1. Smart Housing	
	3	Unit 2. The Working World	
	4	Unit 3. Followers of Fashion	
	5	Unit 4. That's Entertainment!	
	6	Unit 5. Where on earth?	
	7	Mid-term Quiz Unit 6. On your Marks	
	8	Unit 7. Wheels, Wings, and Other Things	
	9	Unit 8. The World around us	
	10	Unit 9. In-store Innovations	
	11	Unit 10. The Things they Do for us	
	12	Unit 11. The Power of Nature	
	13	Unit 12. Wish you were here!	
	14	Unit 13. Fighting Fit	
	15	G-TELP Test	
16	Unit 14. Food, Glorious Food		
キーワード	Communicative Practice Activities		

教科書・教材・参考書	Bideleux, S, et al. (2007). Outlook 4. Cengage
成績評価の方法・基準等	中間・学期末試験(リスニング試験含む)80%、 課題 10%、 出席・授業中の発表 10%。
受講要件(履修条件)	欠席5回で失格
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	毎週クラス開始時のヒアリング・セッションでは、教材テキストの音声CDを用いた自立学習が不可欠です。

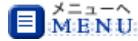


Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



長崎大学 学務情報システム

NU-Web System



シラバス関連 > シラバス参照 > シラバス検索 > シラバス一覧 > シラバス参照

『 全学教育 』

タイムアウトまでおよそ1798秒です。

印刷



シラバス参照

LiveCampus

タイトル「2012年度シラバス」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_英コミⅢ**」

シラバスの詳細は以下となります。



戻る



参照URL

学期	前期	曜日・校時	木2
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20120590005020	科目番号	05900050
授業科目名	●英語コミュニケーションⅢ(2L3)		
編集担当教員	小笠原 真司		
授業担当教員名(科目責任者)	小笠原 真司		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	小笠原 真司		
科目分類	B科目 外国語 既習、外国語科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]125		
対象学生(クラス等)	2L3		
担当教員Eメールアドレス	ogasa-s@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	環境科学部1階		
担当教員TEL	095-819-2094		
担当教員オフィサー	火3 水3 木3		
授業のねらい	英語でのコミュニケーション活動がスムーズにできるように、基礎的な英語の発音やリズム練習を行います。さらに、リスニングストラテジーに基づいたトレーニングを行い、英語の歌を利用してリスニングの力をつけるとともに、リピーティングを用いた構文練習を行い、自信を持って英語を発信できるようにします。		
授業方法(学習指導法)	演習形式で行います。指定されたテキストは、決められた範囲を予習しておくことが必要です。家庭でテキスト付属のCDを利用して、十分練習していただくことを要求します。歌のテキストは、授業時にリスニングをしてもらい、重要表現を積極的に覚えてもらいます。また、2回程度、プレゼンテーション用のスピーチ用の英文の原稿を書いてもらい、ペアーやグループでの英語によるスピーチ練習をします。		
授業到達目標	テキストの中の重要な英語の構文は、授業中指定されたものはすべて覚えて頭の中に内在化し、自然と発話できるレベルまでにします。英会話レベルを超えて、少し長いレベルの英語も発話できるようにします。また、基本的なリスニングストラテジーを身につけてもらい、簡単な英語ニュースや英語の歌なら、内容の概要を聞き取れるようにします。また、簡単なプレゼンテーションを、自信をもって英語でスピーチできるようにします。		
	毎回、授業の最初には、テキストを用いて、話すための大切な英語構文を整理しながらCDを聞いて用いて、英語を繰り返す練習を行います。これは、リピーティング練習といい、英語の構文を内在化する(身につける)には効果的な練習方法です。この練習を20分程度行い、その後、リスニングストラテジーに基づき、リスニング用の英語の歌を用いて、リスニングのトレーニングを行います。さらに、応用練習として、ペアーやグループになってもらい、課題として作成したプレゼンテーション用の原稿を用いてのスピーチ練習を行います。もちろん、この原稿を書くための指導も行います。この授業に関しては、決して受身的な態度で授業に参加しないでください。授業の効果を上げるためにも、学生は極力欠席を避け、積極的に授業に参加してください。毎回、課題がでますので、なによりも家庭学習をきちんとすることが大切です。学生の積極的な取り組みを期待します。真剣に授業に参加し、家庭学習もきちんとすれば、必ず英語の力は向上します。がんばってください。		
	回	内容	
	1	オリエンテーション リピーティング練習の体験 テキスト 機能編:質問する、依頼する、確認する等 英語の歌 1 2	
	2	リピーティング練習1 テキスト 機能編:あやまる、感謝を表す、賛成する等 英語の歌 3	
		リピーティング練習2	

授業内容	3	テキスト 場面編: 基本情報を語る 英語の歌 4	
	4	リピーティング練習3 テキスト 場面編: 趣味・クラブ・バイトを語る 英語の歌 5	
	5	リピーティング練習4 テキスト 場面編: 勉強・夢を語る 英語の歌 6	
	6	リピーティング練習5 テキスト 場面編: 勉強・夢を語る 英語の歌 7	
	7	リピーティング練習6 テキスト 場面編: 友人のことを聞く 英語の歌 8 スピーチ練習課題A作成指導	
	8	リピーティング練習7 テキスト 場面編: 授業情報を聞く 英語の歌 9 スピーチ練習課題A提出	
	9	リピーティング練習8 テキスト 基本的な疑問表現を使いこなす 英語の歌 10 スピーチ練習課題Aを用いたペア練習	
	10	リピーティング練習9 テキスト 基本的な疑問表現を使いこなす 英語の歌 11 スピーチ練習課題Aを用いたペア練習	
	11	リピーティング練習10 テキスト 基本的な疑問表現を使いこなす 英語の歌 12 日本文化語彙学習1	
	12	リピーティング練習11 テキスト 助動詞の気持ちをつかむ 英語の歌 13 日本文化語彙学習2	
	13	リピーティング練習12 テキスト 助動詞の気持ちをつかむ 英語の歌 14 日本文化語彙学習3 スピーチ練習課題B作成指導	
	14	テキスト 助動詞の気持ちをつかむ 英語の歌 15 日本文化語彙学習4 スピーチ練習課題B提出 ペア練習	
	15	テキスト いろいろな場面でのダイアログ 英語の歌 16 スピーチ練習課題B ペア練習	
	16	定期試験	
	キーワード	Repeating, Pair Work, Listening Strategies	
	教科書・教材・参考書	教科書(テキスト): English Communication for Self-Expression -Life,Culture and Medicine- (EIKO-SHA) (CD付) 1,620円 歌で学ぶ英語コミュニケーション(英光社) (CD付き) 1,440円 (上記2冊を生協で購入して授業に参加してください)	

成績評価の方法・基準等	成績評価は、 ○定期試験50%、小テスト10%、授業中の発表10%、プレゼンペーパー30%で行います。
受講要件(履修条件)	全回出席が原則。教科書も必ず購入すること。
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



長崎大学 学務情報システム

NU-Web System



シラバス関連 > シラバス参照 > シラバス検索 > シラバスイ覧 > シラバス参照

『全学教育』

タイムアウトまでおよそ1786秒です。

印刷



シラバス参照

LiveCampus

タイトル「2012年度シラバス」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_英コミⅢ**」
シラバスの詳細は以下となります。



戻る



参照URL

学期	前期	曜日・校時	金2
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20120590005008	科目番号	05900050
授業科目名	●英語コミュニケーションⅢ(2E5)		
編集担当教員	山田 健太郎		
授業担当教員名(科目責任者)	山田 健太郎		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	山田 健太郎		
科目分類	B科目 外国語 既習、外国語科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]302		
対象学生(クラス等)	2E5		
担当教員Eメールアドレス	k-yamada@sun.ac.jp		
担当教員研究室	非常勤講師室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	授業前後		
授業のねらい	視聴覚教材とテキストによるインプットをベースにして、自分の意見を表現する英語力を身につける。		
授業方法(学習指導法)	テキスト付属のDVDに収録されたビデオスクリプトを繰り返し見ることで、聴解力をまず鍛え、その上で自習用の教材で表現を補強し、自分が使える英語表現を増やす。		
授業到達目標	TOEIC500点以上の英語力。自分の意見を簡単な英語で表現できる英語力。		
授業内容	<p>英語に慣れるために、毎回の授業で英英辞典を使ったクイズ、ビデオ・クリップについての英問英答などを行う。適宜グループ活動を組み入れることで、必ず英語を話す時間が毎回の授業であるようにする。自習用教材として購入する教材と合わせて自分の意見を表現する英語力を身につけ、最終的には簡単な英語によるプレゼンを行う。</p> <p>第1回 オリエンテーション(英英辞典の利用や、リスニング力向上のためのコツなど、英語学習全般について) 第2回 Chapter 1 Language: a road to communication 第3回 Chapter 2 Big Decisions: the less common path 第4回 Chapter 3 Friendship: the simple joys 第5回 Chapter 4 Emotional Health: taking care of ourselves 第6回 Chapter 5 The World: travel and tradition 第7回 Chapter 6 Celebration: sense of community 第8回 Chapter 7 Giving Birth: the old and the new 第9回 Chapter 8 Music: so basic, so mysterious 第10回 Chapter 9 Gender and Language: hidden sexism 第11回 Chapter 10 Newspapers: different roles 第12回 Art: all about life 第13回 Information Technology: finding a balance 第14回 プレゼンテーション その1 第15回 プレゼンテーション その2</p>		
キーワード			
教科書・教材・参考書	『大学生のためのビデオクリップ英語総合学習』松柏社 『自分を語る英語』ジャンタイムズ		
成績評価の方法・基準等	定期試験40%、小テスト20%、積極的な授業への参加度20%。プレゼンテーション20%		
受講要件(履修条件)			

本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



長崎大学 学務情報システム

NU-Web System



メニューへ



ログアウト



シラバス関連 > シラバス参照 > シラバス検索 > シラバス一覧 > シラバス参照

『 全学教育 』

タイムアウトまでおよそ1795秒です。

印刷



シラバス参照

LiveCampus

タイトル「2012年度シラバス」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_英コミⅢ**」
シラバスの詳細は以下となります。

戻る

参照URL

学期	前期	曜日・校時	金2
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20120590005011	科目番号	05900050
授業科目名	●英語コミュニケーションⅢ(2E6)		
編集担当教員	大坪 有実		
授業担当教員名(科目責任者)	大坪 有実		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	大坪 有実		
科目分類	B科目 外国語 既習、外国語科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]401		
対象学生(クラス等)	2E6		
担当教員Eメールアドレス	r_otsubo@hotmail.co.jp		
担当教員研究室	非常勤講師控室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	毎週金曜日 12:00~12:50		
授業のねらい	日常で感じる、様々な素朴な疑問(なぜ人は物忘れをするのか?など)について、またその答えが書かれた英文を読み、自身の意見を英語で伝えることをねらいとする。		
授業方法(学習指導法)	一日で一課進む。 前半は各課の取り上げた疑問とその答えが書かれた英文を読む。 後半はその疑問について、グループ、またはペアで自身がどのように思ったか、また、似た問題提起をして、それについて英語で議論する。		
授業到達目標	英文を読み、内容を正確に理解したうえで、自身の考えを英語で伝えることができる。		
授業内容	回	内容	
	1	Introduction 授業の進め方・諸注意 Why Do People Have Eyelashes?	
	2	Why Does Pepper Make You Sneeze?	
	3	Why Do We Fall in Love?	
	4	Why Can't We Cure a Cold?	
	5	Why Is the Number 7 Lucky?	
	6	Why Does Our Hair Turn Gray?	
	7	Why Is the Sea Salty?	
	8	Why Do Women Live Longer than Men?	
	9	Why Do Some Species Become Extinct?	
	10	Why Are Tomatoes a Kind of Fruit?	
	11	Why Does the Wind Blow?	
	12	Why Are Spider Webs So Strong?	
	13	Why Do We Cry When We Cut an Onion?	
	14	Why Do We Dream?	
	15	Why Are There 24 Hours in a Day?	

	16 定期試験
キーワード	
教科書・教材・参考書	Asking Why? The Science of Everyday Life (金星堂) ¥1,995
成績評価の方法・基準等	定期試験60% 授業への積極的な取り組み(発表・課題・ペア/グループワーク)40%
受講要件(履修条件)	授業中、発表・ペア/グループワークをしてもらいますのでテキストの内容をしっかり予習して授業に臨んでください。 また、和英辞書を持参すること。
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



タイトル「2012年度シラバス」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_英コミⅢ**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	金2
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20120590005013	科目番号	05900050
授業科目名	●英語コミュニケーションⅢ(2E7)		
編集担当教員	濱崎 大		
授業担当教員名(科目責任者)	濱崎 大		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	濱崎 大		
科目分類	B科目 外国語 既習、外国語科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]124		
対象学生(クラス等)	2Kb		
担当教員Eメールアドレス	mohican007@hotmail.com		
担当教員研究室	非常勤講師室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	非常勤講師室在中可		
授業のねらい	学期を通してEnglish Presentationを実践します。これまで学んできた英語を駆使して、4人から6人のグループをつくり、興味のあるトピックを学期末に英語で発表することを最終目標とします。また、集めた情報をまとめ、それをもとに独自の思考を組み立てていくCritical Thinkingも学びます。		
授業方法(学習指導法)	講義内容は、Presentationの組み立て方、English Presentationに適切な表現や姿勢、英語での情報収集やまとめ方に重点を置きます。物事を多面的に見解し、ニュートラルな考え方ができるようになります。		
授業到達目標	Presentationを段階的に作成していく中で、作文力、読解力、応用力ができ、発表をすることによりSpeakingや対応力、判断力がつきます。		
授業内容	前半は教科書、プリント等の講義、後半はGroup Workとします。Formal Presentationを学期末試験とします。これまで培ってきた英語力を確認し、大学生レベルの英語をもってすれば非常に高度なPresentationを英語でも出来ることを証明します。資料収集にあたり、ReadingやListing、また、発表に従って、Speakingのskillも重要となります。毎回の講義を有意義に進めていくSelf-Controlも重要です。		
	回	内容	
	1	Introduction	
	2	Chapter 6 Organizational Aspects (1)	
	3	Chapter 7 Organizational Aspects (2)	
	4	Chapter 3 Organizational Aspects and Visual Aspects	
	5	Chapter 4 Organizational Aspects and Visual Aspects	
	6	Chapter 9 Integrated Presentation and Organizational Aspects	
	7	Chapter 10 Integrated Presentation and Organizational Aspects	
	8	Formal Outline	
	9	Formal Outline	
	10	Due Date of Formal Presentation Outline	
	11	Chapter 1 Physical Aspects and Preparation	
	12	Chapter 2 Oral Aspects and Preparation	
13	Preparation		

	14	Final Examination, Group Presentation
	15	Final Examination, Group Presentation
	16	Final Examination, Group Presentation
キーワード	Presentation, Group Work, Critical Thinking	
教科書・教材・参考書	Power Presentation「英語でプレゼンテーション」(三修社) 各自持っている参考書、辞書(英和、和英)	
成績評価の方法・基準等	Class Attendance and Participation: 30% 提出物: Formal Presentation Outline: 25% Final Examination: English Presentation: 45%	
受講要件(履修条件)	全講義出席が原則。ただし、正当な理由で欠席する場合は個人指導を行う。(課外クラブ活動に関しては正当な理由とは認められません。)講義、演習の妨害行為はモラルとして自重してください。目に余る場合は、退室及び辞退を申し入れます。 欠席回数が1/3以上で学期末試験の受講資格を失います。	
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考(URL)		
備考(準備学習等)	期末テストはGroup Workになり、Group内でのコミュニケーションも非常に重要になります。無断欠席、遅刻などは他の受講者にも非常に迷惑をかけることになるので、必ず責任ある態度で講義に望んでください。 学期末試験中に無断欠席をした場合は、失格とします。	





タイトル「2012年度シラバス」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_英コミⅢ**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	金2
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20120590005016	科目番号	05900050
授業科目名	●英語コミュニケーションⅢ(2E8)		
編集担当教員	藤本 ゆかり		
授業担当教員名(科目責任者)	藤本 ゆかり		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	藤本 ゆかり		
科目分類	B科目 外国語 既習、外国語科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]103		
対象学生(クラス等)	2E8		
担当教員Eメールアドレス			
担当教員研究室	非常勤講師控室		
担当教員TEL	095-819-2078 (全学教育事務室)		
担当教員オフィスアワー	金曜日10時30分より		
授業のねらい	基本的で実用的な英会話の表現を習得し、表現の基礎の定着を図る。話すことと聴くことの技能を身に着ける。ダイアローグの暗記をするのみではなく、構文や文法に留意して、基本的な理解力を確かなものにする。語彙を増やし、文法を理解し表現の感覚を磨く。対話力を向上させ、自分の言いたいことを表現できる豊かな表現力へと応用できる能力を養う。自分の言いたいことを表現できるコミュニケーションに対する意欲を持ち、自主的に話せるようになることを目的とする。		
授業方法(学習指導法)	ダイアローグの詳細な解説を行い、文法と構文、及び表現の指導をする。このことによって、ダイアローグを容易に覚えらるようになる。発音の練習をし、表現を声に出して言う。声に出すことで覚えたダイアローグを使用してみる。リスニングの指導を行う。派生語・適語選択・会話表現の問題を解き、解説を行う。何度も聴き、リピーティングを行うことで、スキルの定着を図る。		
授業到達目標	基本的・実用的な英会話の表現を覚え、話すことができる。語彙力を増強することができる。英語の構文・文法・表現について理解を深めることができる。美しい発音ができ、リスニングの能力を養う。表現を声に出して述べるができる。基礎を固めた上で、自分の言いたいことを表現できるようになる。適語選択問題により、語彙を増やし、文法を身に着け、表現の応用ができるようになる。英会話とコミュニケーションに対する関心・興味を持ち、各自が目標を定めて積極的に学習の場を求めていく態度を養う。日常会話を通して、ダイアローグの背景や、英米の文化の理解を深めることができる。また、各自の現在の能力をさらに向上させるようにする。		
授業内容	日常生活及び学生生活に即したテーマを中心とした、普遍的な状況の中で交わされる、実践的な親しみやすいダイアローグについて、CDを聴きながら、主要な表現・構文・文法の指導を行う。構文や文法を理解することが、会話での表現の習得においても、容易にして有効であるというアプローチを進めていく。英単語の発音の仕方を指導し、練習を行う。文全体の発音についても指導と練習を繰り返して行い、定着を図る。さらに、ダイアローグの表現を言えるように練習をし、覚え、ひいては話す能力を養う基礎を固めていく。また、話す能力と聴く能力は表裏一体であるという認識に基づいて、リスニングの方法を説明し、実践してみる。ダイアローグの背景について解説する。英会話とコミュニケーションに対する意欲を持てるように指導していく。		
	回	内容	
	1	4月 6日 導入・授業内容の説明	
	2	4月13日 Topics 1・2・3	
	3	4月20日 Topics 4・5・6	
	4	4月27日 Topics 7・8・9	
	5	5月11日 Topics 10・11・12・13	
	6	5月18日 Topics 14・15・16・17	

	7	5月25日	Topics 18・19・20
	8	6月 1日	Topics 21・22・23
	9	6月 8日	Topics 24・25・26
	10	6月15日	Topics 27・28・29
	11	6月22日	Topics 30・31・32
	12	6月29日	Topics 34・35・36
	13	7月 6日	Topics 37・38・39
	14	7月13日	Topics 40・41・42
	15	7月20日	Topics 43・44
	16	定期試験	
キーワード	様々な状況の中での英会話のダイアログ / 有用な表現 / 多彩なトピックス		
教科書・教材・参考書	A Shorter Course in Situational Conversation『英語会話』（赤川裕：南雲堂） 英和辞典（電子辞書）を必携すること。		
成績評価の方法・基準等	定期試験を筆記で行います。主に定期試験により評価をします。 それに授業中の活動を加えます。 定期試験90%、授業中の発表や活動10%を基準とします。 また、受講中の態度を非常に重視します。		
受講要件（履修条件）	授業には全回出席しましょう。発音など声を出しての活動は、積極的に参加することを期待します。必ず予習をして臨んで下さい。		
本科目の位置づけ	有用な日常会話を学び、役立てる。定型的な会話文を定着させ、スピーキングとコミュニケーションの能力を向上させる。		
学習・教育目標	対話形式で実践的な英語表現を身に着ける。		
備考（URL）			
備考（準備学習等）	必ず予習をして授業に臨んでください。必ず予め英単語の意味を調べ、問題を解いておきましょう。毎日繰り返し練習し、復習を行うことが、学習効果を上げる為に重要です。		





長崎大学 学務情報システム

NU-Web System



シラバス関連 > シラバス参照 > シラバス検索 > シラバス一覧 > シラバス参照

『 全学教育 』

タイムアウトまでおよそ1798秒です。

印刷



シラバス参照

LiveCampus

タイトル「2012年度シラバス」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_英コミⅢ**」
シラバスの詳細は以下となります。



戻る



参照URL

学期	後期	曜日・校時	月2																																		
開講期間																																					
必修選択	必	単位数	1.0																																		
時間割コード	20120590005021	科目番号	05900050																																		
授業科目名	●英語コミュニケーションⅢ(2T4)																																				
編集担当教員	奥田 阿子																																				
授業担当教員名(科目責任者)	奥田 阿子																																				
授業担当教員名(オムニバス科目等)	奥田 阿子																																				
科目分類	B科目 外国語 既習、外国語科目																																				
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目																																		
教室	[全]125																																				
対象学生(クラス等)	2T4																																				
担当教員Eメールアドレス	a-okuda@nagasaki-u.ac.jp																																				
担当教員研究室																																					
担当教員TEL																																					
担当教員オフィスアワー	質問受付時間:月曜日4限目 教員Eメールアドレス宛に質問も可																																				
授業のねらい	英語圏への留学、TOEICの受験などを想定し、大学生としてふさわしい実践的な英語の運用能力を養成します。																																				
授業方法(学習指導法)	この授業では、リスニング及び語彙の基礎力を養成することを目指します。教材の内容理解度及び学習ペース設定のため、リスニングについては1か月に1回程度、語彙については毎週、小テストを実施します。1週間に2、3回の自習が必要です。																																				
授業到達目標	各単語を逐一聞き取ろうとするのではなく、5語前後から成るフレーズに注目し、そのフレーズ全体の内容を理解するような姿勢でリスニング出来るようになること。また、話者の言葉自体だけでなく、話されている場所、話者の立場、その場の状況など、あらゆる情報を総合して、話者の発話内容を理解できるようになること。																																				
授業内容	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>オリエンテーション、教材の選定テスト</td></tr> <tr><td>2</td><td>教材の説明、学習方法の説明</td></tr> <tr><td>3</td><td>小テスト、グループワーク</td></tr> <tr><td>4</td><td>小テスト、グループワーク</td></tr> <tr><td>5</td><td>小テスト、グループワーク</td></tr> <tr><td>6</td><td>小テスト、グループワーク</td></tr> <tr><td>7</td><td>小テスト、グループワーク</td></tr> <tr><td>8</td><td>小テスト、発表</td></tr> <tr><td>9</td><td>小テスト、グループワーク</td></tr> <tr><td>10</td><td>小テスト、グループワーク</td></tr> <tr><td>11</td><td>小テスト、グループワーク</td></tr> <tr><td>12</td><td>小テスト、グループワーク</td></tr> <tr><td>13</td><td>小テスト、グループワーク</td></tr> <tr><td>14</td><td>小テスト、グループワーク</td></tr> <tr><td>15</td><td>小テスト、発表</td></tr> <tr><td>16</td><td>期末試験</td></tr> </tbody> </table>			回	内容	1	オリエンテーション、教材の選定テスト	2	教材の説明、学習方法の説明	3	小テスト、グループワーク	4	小テスト、グループワーク	5	小テスト、グループワーク	6	小テスト、グループワーク	7	小テスト、グループワーク	8	小テスト、発表	9	小テスト、グループワーク	10	小テスト、グループワーク	11	小テスト、グループワーク	12	小テスト、グループワーク	13	小テスト、グループワーク	14	小テスト、グループワーク	15	小テスト、発表	16	期末試験
回	内容																																				
1	オリエンテーション、教材の選定テスト																																				
2	教材の説明、学習方法の説明																																				
3	小テスト、グループワーク																																				
4	小テスト、グループワーク																																				
5	小テスト、グループワーク																																				
6	小テスト、グループワーク																																				
7	小テスト、グループワーク																																				
8	小テスト、発表																																				
9	小テスト、グループワーク																																				
10	小テスト、グループワーク																																				
11	小テスト、グループワーク																																				
12	小テスト、グループワーク																																				
13	小テスト、グループワーク																																				
14	小テスト、グループワーク																																				
15	小テスト、発表																																				
16	期末試験																																				

キーワード	
教科書・教材・参考書	Listen to Me！シリーズの教材
成績評価の方法・基準等	期末テスト、小テスト、学習態度を、おおよそ以下の比率で総合的に評価する。 期末テスト:20% 小テスト:30% 自習状況を含む学習態度:50%
受講要件(履修条件)	
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	

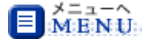


Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



長崎大学 学務情報システム

NU-Web System



シラバス関連 > シラバス参照 > シラバス検索 > シラバス一覧 > シラバス参照

『 全学教育 』

タイムアウトまでおよそ1798秒です。

印刷



シラバス参照

LiveCampus

タイトル「2012年度シラバス」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_英コミⅢ**」
シラバスの詳細は以下となります。



戻る



参照URL

学期	後期	曜日・校時	月2
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20120590005033	科目番号	05900050
授業科目名	●英語コミュニケーションⅢ(2T3)		
編集担当教員	井石 哲也		
授業担当教員名(科目責任者)	井石 哲也		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	井石 哲也		
科目分類	B科目 外国語 既習、外国語科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]大教センター3F		
対象学生(クラス等)	2T3		
担当教員Eメールアドレス	iseki@kwassui.ac.jp		
担当教員研究室	非常勤講師控室		
担当教員TEL	095-822-4107(内線257)		
担当教員オフィスアワー	活水女子大学井石研究室にて要確認		
授業のねらい	英語読解力養成と聞き取り(新聞英語の読解とイギリス英語の会話表現演習)、イギリス文化理解		
授業方法(学習指導法)	イギリスの新聞記事を用いて、パラグラフ読解の練習をおこなう。またビデオ教材を用いて、イギリス英語の会話を理解できるように、スピーキング&リスニングの能力を養成する。		
授業到達目標	英語読解力、聞き取り能力の向上と、現代イギリスのさまざまな文化の諸相について理解することを目標とする。		
授業内容	第1回 受講上の注意、テキストの使用法(第1章をサンプルとして)と授業の進め方について説明を行う。第2回～第15回は各回のトピックに従って演習を行い、第16回目に定期試験を実施する。なお、新聞記事についてはコピーを配布する。		
	回	内容	
	1	導入・テキストのトピック: Arriving at the Hotel	
	2	A Taxi Ride	
	3	Shakespeare's Globe Theatre	
	4	A Cruise on the River Thames	
	5	Hungerford Bridge	
	6	The Imperial War Museum	
	7	The London Tube	
	8	At the Shops	
	9	At Sally's Flat	
	10	Car Hire	
	11	At a London Pub	
	12	Finding the Way	
	13	Trafalgar Square	
	14	Cycle Hire	
	15	Time to Leave	
16	定期試験		

キーワード	
教科書・教材・参考書	Paul Snowden, London Alive — Survival English — (Asahi Press, 2012) DVD教材
成績評価の方法・基準等	定期試験70点、授業における発表と取り組み30点の配点とする。
受講要件(履修条件)	
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



長崎大学 学務情報システム

NU-Web System



シラバス関連 > シラバス参照 > シラバス検索 > シラバス一覧 > シラバス参照

『 全学教育 』

タイムアウトまでおよそ1799秒です。

印刷



シラバス参照

LiveCampus

タイトル「2012年度シラバス」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_英コミⅢ**」
シラバスの詳細は以下となります。



戻る



参照URL

学期	後期	曜日・校時	月2
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20120590005035	科目番号	05900050
授業科目名	●英語コミュニケーションⅢ(2T2)		
編集担当教員	香川 実成		
授業担当教員名(科目責任者)	香川 実成		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	香川 実成		
科目分類	B科目 外国語 既習、外国語科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教]21講義室		
対象学生(クラス等)	2T2		
担当教員Eメールアドレス	jissei@kwassui.ac.jp		
担当教員研究室	非常勤講師控室		
担当教員TEL	09043429702		
担当教員オフィスアワー	月曜日12:00~12:50 非常勤控室にて		
授業のねらい	世界遺産を紹介するDVD教材を用い、主としてリスニング・スキルの向上を目指します。ただし、読まれる英文(本文)の内容や表現の理解が前提となるので、ポキャブラリーの増強やリーディング・スキルの向上も同時におこないます。		
授業方法(学習指導法)	予習を前提とする演習形式で授業を進める。		
授業到達目標	①リスニングについては、英語のリズム、結合・脱落といった現象を確認し、最終的には自分のスピーキングで同様のことを実践できること、②基本語彙については、「音」・「意味・語法」・「スペリング」の3つを統合して使えるようになること、③リーディングについては、個々のセンテンスの(修飾関係の把握に基づく)構造理解のみならず、センテンス間の論理関係とパラグラフ構成にも意識を向けること一以上を目標とする。		
授業内容	第2回～第15回の毎回、教科書各ユニットのリスニング教材と練習問題を通して、語彙の習得、内容理解の確認を中心とするリスニング・アクティビティをおこなう。毎回、前週に扱ったリスニング教材についての小テストをおこなう。		
	回	内容	
	1	授業概要と授業計画の説明	
	2	Unit 1: Statue of Liberty, USA	
	3	Unit 2: Forbidden City, China	
	4	Unit 3: Bath, England	
	5	Unit 4: Canadian Rockies, Canada	
	6	Unit 5: The Pyramids, Egypt	
	7	Unit 6: Ayutthaya, Thailand	
	8	Unit 7: Edinburgh Castle, Scotland	
	9	Unit 8: Machu Picchu, Peru	
	10	Unit 9: Taj Mahal, India	
	11	Unit 10: Te Wahipounamu, New Zealand	
	12	Unit 11: Shirakawa-go, Japan	
	13	Unit 12: Cappadocia, Turkey	
	14	Unit 13: Blue Mountains, Australia	
	15	Unit 14: Persepolis, Iran	

	16 定期試験
キーワード	
教科書・教材・参考書	Masakazu Someya & Fred Ferrasci, "World Heritage on DVD" (DVDで学ぶ世界遺産) Nan'un-do
成績評価の方法・基準等	授業中のアクティビティへの取り組み 20% 小テスト 30% 定期試験 50%
受講要件(履修条件)	
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



長崎大学 学務情報システム

NU-Web System



シラバス関連 > シラバス参照 > シラバス検索 > シラバス一覧 > シラバス参照

『 全学教育 』

タイムアウトまでおよそ1799秒です。 [印刷](#)

シラバス参照

LiveCampus

タイトル「2012年度シラバス」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_英コミⅢ**」
シラバスの詳細は以下となります。



戻る



参照URL

学期	後期	曜日・校時	月2
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20120590005038	科目番号	05900050
授業科目名	●英語コミュニケーションⅢ(2T1)		
編集担当教員	西原 真弓		
授業担当教員名(科目責任者)	西原 真弓		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	西原 真弓		
科目分類	B科目 外国語 既習、外国語科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]新棟4		
対象学生(クラス等)	Lb		
担当教員Eメールアドレス	nishihara@kwassui.ac.jp		
担当教員研究室	非常勤講師室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスマナー	メールで連絡をください		
授業のねらい	学生たちの身近にある内容の読み物をベースに、英語で読み、聞き、書き、話す力を伸ばすことをねらいとする。リスニングでは音変化を意識し、自然な英語を聞き取れるようになる。また、表現力を広げ、情報発信能力を向上させる。		
授業方法(学習指導法)	テキストをベースに、英語の4技能をのばす練習を行う。また、速読用のプリントを使い、情報を読み取り、それに関する自分の意見を言えるようにしていく。		
授業到達目標	必要な情報の読解、聴解ができるようになる。表現力を広げ、英語での自己表現能力を向上させる。		
授業内容	回	内容	
	1	オリエンテーション、音声のポイント	
	2	On-Campus Facilities	
	3	Classroom Expectations	
	4	Roommates Wanted	
	5	Tutoring	
	6	A Blind Date Disaster	
	7	Marriage Announcement	
	8	Chemistry	
	9	Pre-Wedding Parties	
	10	Driving in the US	
	11	Driving in the US	
	12	Pastime	
	13	Relaxing time	
	14	Words of Encouragement	
	15	Words of Encouragement	
16	試験		

キーワード	
教科書・教材・参考書	西原俊明、西原真弓、Amy Mukamuri 『Cultural Encounters』センゲー・ジラーニング
成績評価の方法・基準等	定期試験 80点 小テスト、及び授業外課題 20点
受講要件(履修条件)	
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



長崎大学 学務情報システム

NU-Web System



シラバス関連 > シラバス参照 > シラバス検索 > シラバスイ覧 > シラバス参照

『 全学教育 』

タイムアウトまでおよそ1799秒です。

印刷



シラバス参照

LiveCampus

タイトル「2012年度シラバス」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_英コミⅢ**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	月2																								
開講期間																											
必修選択	必	単位数	1.0																								
時間割コード	20120590005039	科目番号	05900050																								
授業科目名	●英語コミュニケーションⅢ(2T5)																										
編集担当教員	ローン 悦子																										
授業担当教員名(科目責任者)	ローン 悦子																										
授業担当教員名(オムニバス科目等)	ローン 悦子																										
科目分類	B科目 外国語 既習、外国語科目																										
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目																								
教室	[全]323																										
対象学生(クラス等)	2T5																										
担当教員Eメールアドレス	etsukolawn@hotmail.com																										
担当教員研究室	非常勤講師控室																										
担当教員TEL																											
担当教員オフィスアワー	授業の前後、またはメールにて質問を受け付けます																										
授業のねらい	本授業では、実用的な英会話の表現を習得します。特にリスニングとスピーキングに力を入れながら基礎的かつ機能的な英語運用能力の向上を目指します。																										
授業方法(学習指導法)	授業では、テキストをベースに基礎的なコミュニケーションに役に立つような表現を学習していきます。また、新しい語彙、表現力を増やすためにauthenticな教材、洋画を使用し(DVD視聴)、Readers' theaterなどの活動を通してペアワーク、グループワークをより多く取り入れて授業を進めていきます。英語圏の文化、習慣の違いにも触れていきます。																										
授業到達目標	授業を通して、英語コミュニケーション活動に慣れ親しみ、基礎的なコミュニケーション能力を身につけることを目標とします。また洋画を英語で(音声、字幕共)より理解できるようにすることを目標とします。																										
授業内容	<p>授業では、テキストをベースに基礎的なコミュニケーションに役立つような表現を練習していきます(テキストは全6課からなっていますが、授業の進み具合で調節しながら進めていきます)。特に日常生活で頻繁に使われる実用的なコミュニケーション能力をより向上させるために、授業を通して、種々のリーディングスキル、リスニングストラテジーを学習しながら、受講生には回答の機会を出来る限り設け、ペアワーク、グループワークを通して学んだ表現の定着を図ります。テキスト中の基礎的な構文は、自然に口からついて出てくる程度にするために、各自音読、リピーティング、オーバーラッピング、シャドーイング、ディクテーション等の練習に力を入れて下さい。テキスト付属のSelf-study CD-ROMを使用し予習、復習をして授業に臨んで下さい。DVDの視聴、補助教材も適宜使用し、Readers' theaterなどの活動を通して、発音、間、イントネーションの練習もしていきます。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>10月1日 オリエンテーション 授業の進め方Self-introduction DVD視聴(2回目以降も継続的に視聴予定)</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>10月15日 My interests スキルの概要説明</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>10月22日 My interests Readers' theater の練習方法の説明</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>10月29日 Descriptions</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>11月5日 Descriptions Readers' theater</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>11月12日 Rain or shine</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>11月19日 Rain or shine Readers' theater</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>11月26日 Life at home</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>12月3日 Group work for the presentation</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>12月10日 Presentaton</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>12月17日 Life at home</td> </tr> </tbody> </table>			回	内容	1	10月1日 オリエンテーション 授業の進め方Self-introduction DVD視聴(2回目以降も継続的に視聴予定)	2	10月15日 My interests スキルの概要説明	3	10月22日 My interests Readers' theater の練習方法の説明	4	10月29日 Descriptions	5	11月5日 Descriptions Readers' theater	6	11月12日 Rain or shine	7	11月19日 Rain or shine Readers' theater	8	11月26日 Life at home	9	12月3日 Group work for the presentation	10	12月10日 Presentaton	11	12月17日 Life at home
回	内容																										
1	10月1日 オリエンテーション 授業の進め方Self-introduction DVD視聴(2回目以降も継続的に視聴予定)																										
2	10月15日 My interests スキルの概要説明																										
3	10月22日 My interests Readers' theater の練習方法の説明																										
4	10月29日 Descriptions																										
5	11月5日 Descriptions Readers' theater																										
6	11月12日 Rain or shine																										
7	11月19日 Rain or shine Readers' theater																										
8	11月26日 Life at home																										
9	12月3日 Group work for the presentation																										
10	12月10日 Presentaton																										
11	12月17日 Life at home																										

	12	12月25日 Health
	13	1月7日 Health
	14	1月21日 What' s on TV
	15	1月28日 Review
	16	2月4日 定期試験 ※授業の進み具合で、上記の進度、内容設定を変更する場合があります。
キーワード	フレーズリーディング、シャドーイング、リピーティング、ディクテーション	
教科書・教材・参考書	教科書としてJack C. Richards・David Bohlke 著 『Four Corners 2 Student's Book A with Online Workbook 』Cambridge University Press- ISBN: 9781107680494 を使用します。第1回目の授業までに、必ず生協の販売コーナーで各自購入して下さい。	
成績評価の方法・基準等	定期試験(40%)、授業中の発表、小テスト、課題、プレゼンテーション(50%)、積極的な授業への参加(10%)を総合的に判断します。	
受講要件(履修条件)	教科書、英語辞典(電子辞書も可)を、毎回持参、また毎回授業に出席すること(時間厳守)。 学習した内容は、きちんと復習すること!	
本科目の位置づけ	英語コミュニケーションの基礎能力を身につけるストラテジーを習得し、日本人学習者の苦手な音声言語コミュニケーション能力の向上を目指す。	
学習・教育目標		
備考(URL)		
備考(準備学習等)	各自テキスト付属のCD等を使用し予習、復習をして授業に臨んで下さい。	





タイトル「**2012年度シラバス**」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_英コミⅢ**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	火1
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20120590005026	科目番号	05900050
授業科目名	●英語コミュニケーションⅢ(2K2)		
編集担当教員	山崎 有介		
授業担当教員名(科目責任者)	山崎 有介		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	山崎 有介		
科目分類	B科目 外国語 既習、外国語科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教]33講義室		
対象学生(クラス等)	2K2		
担当教員Eメールアドレス	pro-1223@i-next.ne.jp		
担当教員研究室	非常勤講師室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスマワー	授業終了時		
授業のねらい	コミュニケーションを支える文法力を高め、英語の運用能力を養います。世界共通語としての英語を通じて、異文化間の人々との会話を楽しめるよう基本的な表現や語彙力のStep-upを目指します。		
授業方法(学習指導法)	リスニングによる音声把握、音読による発音練習、そして、内容把握を目的とし、英文の読解力と表現力を養っていくものとする。		
授業到達目標	無理なく通常の英文が読め、聴覚力を養うことで、発音の向上を目指し、英語における表現力を豊かにしたい。TOEICや英検などの資格試験のスキルアップにも役立てたい。		
授業内容	毎回、1つずつUnitを進む。文法事項→基本練習(ロールプレーを用いた会話を含む)→発展練習(ロールプレーを用いた会話を含む)の順番で行う。		
	回	内容	
	1	オリエンテーション:授業の進め方・評価の仕方の説明・授業アンケート&クイズ	
	2	Unit 1 会話の英語1	
	3	Unit 2 会話の英語2	
	4	Unit 3 語句や文をつなぐ	
	5	Unit 4 過去を語る英語	
	6	Unit 5 これからのことを語る英語	
	7	Unit 6 自分を語る英語	
	8	中間としてのまとめ	
	9	Unit 7 人を動かす英語	
	10	Unit 8 人の言葉を伝える英語	
	11	Unit 9 数量を表す英語	
	12	Unit 10 位置・移動を豪球英語	
	13	Unit 11 気持ち・形状を表す英語	
	14	Unit 12 動きのある英語	
15	Unit 13 英語の「は」と「が」		

	16 後半のまとめ:(定期試験を含む)
キーワード	Listening/Speaking/Reading/Writing/Vocabulary
教科書・教材・参考書	Grammar for Communication-Weaving It All Together (Asahi Press)
成績評価の方法・基準等	教員評価分【定期試験40%、中間試験30%、小試験20%、授業への姿勢(予習・発言・質問)10%】
受講要件(履修条件)	
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



タイトル「**2012年度シラバス**」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_英コミⅢ**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	火1
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20120590005034	科目番号	05900050
授業科目名	●英語コミュニケーションⅢ(2K1)		
編集担当教員	川島 浩勝		
授業担当教員名(科目責任者)	川島 浩勝		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	川島 浩勝		
科目分類	B科目 外国語 既習、外国語科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[環]242		
対象学生(クラス等)	2K1		
担当教員Eメールアドレス			
担当教員研究室	長崎外国語大学 3階334研究室		
担当教員TEL	095-840-2000(内線334)		
担当教員オフィスアワー	授業終了後、質問を受けつける。また、話し合いにより、後日、時間を設定する場合がある。		
授業のねらい	英語によるコミュニケーションを円滑に行うのに必要とされる口語英語の理解能力の基礎を作る。		
授業方法(学習指導法)	様々なタスクを用い、リスニングにフォーカスをあてた授業を行う。受講者が自己のリスニング能力を客観的に把握・理解できる場面が用意され、同時に、リスニングの学習法を学べるように授業が組み立てられている。		
授業到達目標	本授業の到達目標は、1)口語英語のスピード・イントネーション・リズムに対応できる、2)リスニングに対応できる語彙数を増やす、3)英語のミニマルペアーの聞き分けができる、4)英語のミニマルペアーを正しく発音できる、5)英語の連続音を正しく理解し、聞き取ることができる、である。		
授業内容	回	内容	
	1	授業方針の説明・英語力診断テスト	
	2	アメリカのドラマを題材にしたリスニングと口語英語の理解・整理1	
	3	アメリカのドラマを題材にしたリスニングと口語英語の理解・整理2	
	4	アメリカのドラマを題材にしたリスニングと口語英語の理解・整理3	
	5	アメリカのドラマを題材にしたリスニングとリスニングに対応した語彙力のアップ1	
	6	アメリカのドラマを題材にしたリスニングとリスニングに対応した語彙力のアップ2	
	7	アメリカのドラマを題材にしたリスニングとリスニングに対応した語彙力のアップ3	
	8	これまでの授業のまとめ	
	9	アメリカのドラマを題材にしたリスニングと母音・子音のミニマルペアーの整理・理解1	
	10	アメリカのドラマを題材にしたリスニングと母音・子音のミニマルペアーの整理・理解2	
	11	アメリカのドラマを題材にしたリスニングと母音・子音のミニマルペアーの整理・理解3	
	12	アメリカのドラマを題材にしたリスニングと連続音の整理・理解1	
	13	アメリカのドラマを題材にしたリスニングと連続音の整理・理解2	
	14	アメリカのドラマを題材にしたリスニングと連続音の整理・理解3	
	15	アメリカのドラマを題材にしたリスニングと連続音の整理・理解4	
16	学期末試験		
キーワード	口語英語・リスニング・語彙力・ミニマルペアー・連続音		

教科書・教材・参考書	基本的にはプリント教材を配布するが、第1回目の授業で実施する英語力診断テストの結果によっては、副教材を購入する場合がある。
成績評価の方法・基準等	"レポート20%・学期末試験80%とする。なお、欠席1回でマイナス7点(正当な理由がある場合は考慮する)となる等の「授業ルール」があるので注意すること。詳細は、第1回目の授業で配布する資料を参照すること。 "
受講要件(履修条件)	
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



シラバス関連 > シラバス参照 > シラバス検索 > シラバスイ覧 > シラバス参照

『 全学教育 』

タイムアウトまでおよそ1798秒です。

印刷



シラバス参照

タイトル「2012年度シラバス」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_英コミⅢ**」
シラバスの詳細は以下となります。



戻る



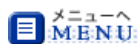
参照URL

学期	後期	曜日・校時	火1
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20120590005036	科目番号	05900050
授業科目名	●英語コミュニケーションⅢ(2K4)		
編集担当教員	大坪 有実		
授業担当教員名(科目責任者)	大坪 有実		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	大坪 有実		
科目分類	B科目 外国語 既習、外国語科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]大教センター2F		
対象学生(クラス等)	2K4		
担当教員Eメールアドレス	r_otsubo@hotmail.co.jp		
担当教員研究室	非常勤講師控室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	毎週月曜日 12:50~14:30		
授業のねらい	各課で取り上げられた話題とそれに対する一般的な見解が書かれた英文を読み、賛成、反対、疑問に思うことなど、自分自身の意見を持ち、それを英語で伝えられることをねらいとする。		
授業方法(学習指導法)	一回の授業で一課進む。 前半はリスニング中心で、取り上げられているトピックとそれに対する一般的な解釈を理解する。 後半はディスカッション中心で、各自の各トピックに対する考えをまとめ、グループ、またはペアで発表する。		
授業到達目標	各課が取り上げるトピックが何を話題にしているか、一般的な解釈を正確に読み取ったうえで、自身の考えを持ち、それを英語で伝えることができる。		
授業内容	回	内容	
	1	Introduction 授業の進め方・諸注意 10代はケータイが大好き	
	2	鉄っちゃんの聖地	
	3	プロボノが社会を変える	
	4	斜陽銭湯の活性化の秘策	
	5	フェアトレードで国際貢献	
	6	仏が手を貸す地域復活	
	7	電子書籍時代の幕は開いたけれど	
	8	育メンはトップから	
	9	世界の中心はどこ？	
	10	繊維を木材に変えた男	
	11	買い物難民を救え	
	12	自販機大国の最新事情	
	13	こんな所で昭和にタイムスリップ	
	14	中小企業のキラリと光る新技術	
	15	殿方も身をやつす	

	16 定期試験
キーワード	
教科書・教材・参考書	SOCIAL TRENDS メディアで読み解く現代英語 (三修社) ¥1,890
成績評価の方法・基準等	定期試験60% 授業への積極的な取り組み(発表、課題、グループ/ペアワーク)40%
受講要件(履修条件)	授業中、発表してもらいますので英文の内容をしっかりと予習して授業に臨んでください。また、自身の意見を英語で述べてもらうので和英辞書を持参すること。
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



シラバス関連 > シラバス参照 > シラバス検索 > シラバスイ覧 > シラバス参照

『全学教育』

タイムアウトまでおよそ1799秒です。

印刷

タイトル「2012年度シラバス」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_英コミⅢ**」
シラバスの詳細は以下となります。

学期	後期	曜日・校時	火1
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20120590005040	科目番号	05900050
授業科目名	●英語コミュニケーションⅢ(2K3)		
編集担当教員	西原 俊明		
授業担当教員名(科目責任者)	西原 俊明		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	西原 俊明		
科目分類	B科目 外国語 既習、外国語科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]322		
対象学生(クラス等)	2Kd		
担当教員Eメールアドレス	t-nishi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室			
担当教員TEL	095-819-2095		
担当教員オフィスアワー	火曜日12:50~13:30 他は、only by appointment		
授業のねらい	基礎的な英語運用能力を高めることを授業のねらいとする。特に、音声言語によるコミュニケーション能力向上を目指す。また、既習の語彙を用いた表現力の幅をひろげるため、Plain Englishに関する講義を併せて行い、表現力向上を目指す。		
授業方法(学習指導法)	授業の前半では、日本人学習者が抱えるリスニング上の問題点を理解する訓練、速読の訓練、表現力を養うPlain Englishによる表現練習を行う。授業の後半では、前半で行う訓練を発展させたauthenticな教材・題材を用いた訓練を行う。速読の訓練では、U.S.A Today, CNN, BBCなどの記事を用いて速読のスキルの訓練をする。英語音声学・応用言語学・言語学等の知見を取り入れ、ペアワークやインフォメーションギャップを用いたコミュニケーション活動を中心に行う。		
授業到達目標	授業を通して、種々の速読のスキル、リスニングストラテジー、英語によるコミュニケーション活動に慣れ、基礎的なコミュニケーション能力を身につけることを目標とする。		
授業内容	回	内容	
	1	10月2日 第1回 オリエンテーション 授業の進め方、授業で取り上げるスキルの概要説明	
	2	10月9日 第2回 英語のリズム(1)、速読(phrase reading)とペアワーク(1)	
	3	10月16日 第3回 Voice Aerobics、速読(phrase reading)とペアワーク(1)	
	4	10月23日 第4回 リズムユニットの理解とシャドーイング(1)、速読(phrase reading)	
	5	10月30日 第5回 リズムユニットの理解とシャドーイング(2)、速読(phrase reading)	
	6	11月6日 第6回 弱く発音される音、速読(phrase reading)	
	7	11月13日 第7回 インフォメーションギャップによるペアワーク(1)、映画による聞き取り(1)	
	8	11月20日 第8回 聞こえなくなる音、映画による聞き取り(2)	
		11月27日	

	9	第9回 インフォメーションギャップによるペアワーク(2), 映画による聞き取り(3)
	10	12月4日 第10回 グループによるディスカッション(1), 映画による聞き取り(4)
	11	12月11日 第11回 ひとつになる音, インフォメーションギャップによるペアワーク(3), 速読(phrase reading)
	12	12月18日 第12回 つながる音, 映画による聞き取り(5), 速読(phrase reading)
	13	1月8日 第13回 なくなる音, 速読(phrase reading), 映画による聞き取り(6)
	14	1月15日 第14回 英語の音のその他の特徴(prosodic featuresを中心として), グループによるディスカッション(2)
	15	1月22日 Retelling, Summarizing, Review
	16	
キーワード	速読、Plain English、リズムユニット、音変化	
教科書・教材・参考書	プリント教材、及び聞き取り訓練テキスト 速読教材としては、各種英字新聞から環境、水産資源、生物に関わる話題を精選し、教材とする。 Extensive Reading教材:Polar Bear (センゲージラーニング)	
成績評価の方法・基準等	まとめテスト(30%)、小テスト(60%)、積極的な授業への参加(10%)等を総合的に判断する。 小テストは毎回行う。まとめテストは、2回実施する。	
受講要件(履修条件)	新たに学習する内容は、きちんと復習すること!	
本科目の位置づけ	高校までの英語学習の弱点を補うとともに、大学レベルの英語学習に必要なスキルの獲得を目指す。	
学習・教育目標	英語コミュニケーションの基礎的能力を身につけると同時に、日本人学習者の弱点を克服する。	
備考(URL)		
備考(準備学習等)		





長崎大学 学務情報システム

NU-Web System



シラバス関連 > シラバス参照 > シラバス検索 > シラバス一覧 > シラバス参照

『 全学教育 』

タイムアウトまでおよそ1800秒です。 [印刷](#)

シラバス参照

タイトル「**2012年度シラバス**」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_英コミⅢ**」
シラバスの詳細は以下となります。



戻る



参照URL

学期	後期	曜日・校時	木1
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20120590005022	科目番号	05900050
授業科目名	●英語コミュニケーションⅢ(2L4)		
編集担当教員	廣江 顕		
授業担当教員名(科目責任者)	廣江 顕		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	廣江 顕		
科目分類	B科目 外国語 既習、外国語科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]大教センター2F		
対象学生(クラス等)	教育(2L4)		
担当教員Eメールアドレス	ahiroe@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室			
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	Emailにより質問を受け付ける		
授業のねらい	短時間で素早く英文の論理的な流れを捉える力を養成する。また、教育及び教育関連分野の文献を用いることにより、専門分野への橋渡しとなる基礎力を身につける。		
授業方法(学習指導法)	前もって学生には英語で書かれている教育及び教育関連分野の文献(あるいはその一部)を配布し、担当者を決めて授業時には要約を発表してもらう。その後、発表内容に関して質問を行うものとする。一方で、3回に1回程度、英語で授業で扱った内容を踏まえながらエッセイを書いてもらう。		
授業到達目標	短い時間で素早く英文の大意と論理の流れ捉えるようになり、さらに各自の主張を英語でまとめることを可能にする。		
授業内容	回	内容	
	1	Orientation (self-introduction)	
	2	教育問題 (1)	
	3	教育問題 (2)	
	4	教育問題 (3)	
	5	Essay Writing (1)	
	6	教育問題 (4)	
	7	教育問題 (5)	
	8	教育問題 (6)	
	9	Essay Writing (2)	
	10	教育問題 (7)	
	11	教育問題 (8)	
	12	教育問題 (9)	
	13	Essay Writing (3)	
	14	Presentation&Discussions (1)	
	15	Presentation&Discussions (2)	
16	定期試験		
キーワード	reading, essay writing, education		

教科書・教材・参考書	プリント配布
成績評価の方法・基準等	授業時の発表(20%)、エッセイの提出(50%)、定期試験(30%)
受講要件(履修条件)	出席は定期試験を受験する前提要件となる。4回以上の欠席で定期試験の受験資格を失う。20分以上の遅刻・早退は欠席とみなす。
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	英文の論理と大意を素早く捉え、英語エッセイを通して各自の主張が行える。
備考(URL)	
備考(準備学習等)	英語の辞書を持参すること(電子辞書も可)



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



シラバス参照

タイトル「2012年度シラバス」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_英コミⅢ**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	木1																						
開講期間																									
必修選択	必	単位数	1.0																						
時間割コード	20120590005027	科目番号	05900050																						
授業科目名	●英語コミュニケーションⅢ(2L5)																								
編集担当教員	藤内 則光																								
授業担当教員名(科目責任者)	藤内 則光																								
授業担当教員名(オムニバス科目等)	藤内 則光																								
科目分類	B科目 外国語 既習、外国語科目																								
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目																						
教室	[全]322																								
対象学生(クラス等)	2La																								
担当教員Eメールアドレス	fujiuchi@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp																								
担当教員研究室	非常勤講師控室																								
担当教員TEL	095-840-2000(内線335)																								
担当教員オフィサー	外語大335研究室にて随時・要確認																								
授業のねらい	この授業では、伝達手段としての英語の基本的な技能と、特に読解能力と聴取能力の相関関係を解説した後、読解と聴解の能力を総合的に向上させる訓練を行う。最終的には、「読んで分かる英語」から「話して通じる英語」へと、受講生の英語力を向上させる。																								
授業方法(学習指導法)	CALL教室の機材を適宜活用し、与えられた英語のテキストの聴解に音読を加えた訓練方式。																								
授業到達目標	CNN放送を聞いて内容を説明できる程度の英語運用能力の獲得を目的とする。																								
授業内容	<p>内容の編集 教科書は主教材と副教材の二種類を使用する。 授業開始当初は副教材を用い、基本的な英語の聴解とディクテーション、適宜発音指導を行い、採点結果を出席した証拠として回収するとともに、提出物として平常点に加算する。 主教材は、主に現代日本の時事に関するNHK BSのニュースを題材にしたDVD教材。第1回目のオリエンテーションにて受講生のリクエストを募り、以降、そのリクエストどおりに授業を進行させる。教科書にある英作文を課題として課し、提出させる。受講生は主教材付属のDVDを見て、事前に予習をすること。 授業の進行が明確に分かっているので、欠席者は次の授業の準備をすること。DVDを見る装置が自宅にない場合でも、図書館を利用するなどの方策を自分で考えること。教科書は設問に解答するだけでなく、本文の音読を予習や復習に取り入れること。1回視聴して内容を理解出来る程度の復習を前提にします。授業も最終試験も難しいので、常に復習を怠らないように。 定期試験 16回目開講時</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>10/4 オリエンテーション、座席決定、教科書販売、期末試験の仕様発表、講義の心得確認</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>10/11 副教材 Lesson 1、主教材 教科書 Unit 1</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>10/18 副教材 Lesson 2、主教材 教科書継続、または新章へ</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>10/25 副教材 Lesson 3、主教材 教科書継続、または新章へ</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>11/1 副教材 Lesson 4、主教材 教科書継続、または新章へ</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>11/8 副教材 Lesson 5、主教材 教科書継続、または新章へ</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>11/15 副教材 Lesson 9、主教材 教科書継続、または新章へ</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>11/22 副教材 Lesson 14、主教材 教科書継続、または新章へ</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>11/29 副教材 Lesson 17、主教材 教科書継続、または新章へ</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>12/6 副教材 Lesson 18、主教材 教科書継続、または新章へ</td> </tr> </tbody> </table>			回	内容	1	10/4 オリエンテーション、座席決定、教科書販売、期末試験の仕様発表、講義の心得確認	2	10/11 副教材 Lesson 1、主教材 教科書 Unit 1	3	10/18 副教材 Lesson 2、主教材 教科書継続、または新章へ	4	10/25 副教材 Lesson 3、主教材 教科書継続、または新章へ	5	11/1 副教材 Lesson 4、主教材 教科書継続、または新章へ	6	11/8 副教材 Lesson 5、主教材 教科書継続、または新章へ	7	11/15 副教材 Lesson 9、主教材 教科書継続、または新章へ	8	11/22 副教材 Lesson 14、主教材 教科書継続、または新章へ	9	11/29 副教材 Lesson 17、主教材 教科書継続、または新章へ	10	12/6 副教材 Lesson 18、主教材 教科書継続、または新章へ
回	内容																								
1	10/4 オリエンテーション、座席決定、教科書販売、期末試験の仕様発表、講義の心得確認																								
2	10/11 副教材 Lesson 1、主教材 教科書 Unit 1																								
3	10/18 副教材 Lesson 2、主教材 教科書継続、または新章へ																								
4	10/25 副教材 Lesson 3、主教材 教科書継続、または新章へ																								
5	11/1 副教材 Lesson 4、主教材 教科書継続、または新章へ																								
6	11/8 副教材 Lesson 5、主教材 教科書継続、または新章へ																								
7	11/15 副教材 Lesson 9、主教材 教科書継続、または新章へ																								
8	11/22 副教材 Lesson 14、主教材 教科書継続、または新章へ																								
9	11/29 副教材 Lesson 17、主教材 教科書継続、または新章へ																								
10	12/6 副教材 Lesson 18、主教材 教科書継続、または新章へ																								

	11	12/13 副教材 Lesson 19、主教材 教科書継続、または新章へ
	12	12/20 副教材 Lesson 21、主教材 教科書継続、または新章へ
	13	1/10 副教材 Lesson 22、主教材 教科書継続、または新章へ
	14	1/17 副教材 Lesson 23、主教材 教科書終了
	15	1/24 G-TELP実施とまとめ
	16	2/7 定期試験 90分、提出物最終締め切り
キーワード		
教科書・教材・参考書		主教材：What's on Japan 6(金星堂) 副教材：Short Listening for Travel(成美堂)
成績評価の方法・基準等		全て主教材より 定期試験70%(単語理解8%・聴解 8%、本文内容ディクテーション 21%(部分点なし)、内容理解23%、課題英作文 10% (部分点あり)) 平常点30% 内訳(G-TELP成績換算 20%、英作文提出と副教材解答結果提出10%を、30%頭打ちで計算)
受講要件(履修条件)		教科書を購入し、英和辞典を必ず携行して授業に臨むこと。
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		英語の実用的運用能力を、訓練を通じて向上させる。また、英語の自学に必要な勉強・訓練方法も伝授する。実際に英語の実力を付けることで教科書の内容を理解させるのが目的なので、授業の予復習をしない学生の単位成立を保証しない。
備考(URL)		
備考(準備学習等)		DVDを見て、放送を一通り音読で真似てみる程度の事前訓練をしてください。





長崎大学 学務情報システム

NU-Web System



シラバス関連 > シラバス参照 > シラバス検索 > シラバス一覧 > シラバス参照

『 全学教育 』

タイムアウトまでおよそ1793秒です。

印刷



シラバス参照

タイトル「2012年度シラバス」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_英コミⅢ**」
シラバスの詳細は以下となります。



戻る



参照URL

学期	後期	曜日・校時	木1
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20120590005030	科目番号	05900050
授業科目名	●英語コミュニケーションⅢ(2L6)		
編集担当教員	上村 俊彦		
授業担当教員名(科目責任者)	上村 俊彦		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	上村 俊彦		
科目分類	B科目 外国語 既習、外国語科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]大教センター3F		
対象学生(クラス等)			
担当教員Eメールアドレス	yandi@sun.ac.jp		
担当教員研究室	非常勤講師室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー			
授業のねらい	CEF(B1)レベルの英語テキストを使い、英文テキストの大意を取りながら読むこと、英語の基本的な構造や出現頻度の高い語彙を用いた英文を聞くこと・話すこと・書くことに習熟する。		
授業方法(学習指導法)	英文テキストの大意を取りながら読むこと(Extensive Reading)、英語音読(Shadowing)、基本的な構文や出現頻度の高い語彙を用いた英文作成(Writing)や発話の演習をおこなう。		
授業到達目標	CEFR(B1)に相当する英語運用能力の養成を目指す。 http://www.ets.org/Media/Research/pdf/CEF_Mapping_Study_Interim_Report.pdf		
授業内容	英語の4技能(「読み」、「聞き」、「書き」、「話す」)の向上のための演習をおこなう。テキストの音声教材を用いたヒアリングを毎回のクラス開始時におこなう。テキストの中の英文作成課題については、クラスで演習をおこなうとともに課外レポートとして課す。		
	回	内容	
	1	Introduction Essential English	
	2	Unit 1. I've been running.	
	3	Unit 2. Do you know what it's about?	
	4	Unit 3. It was painted by da Vinci.	
	5	Unit 4. Who's your best friend?	
	6	Mid-term Quiz Review 1	
	7	Unit 5. Gotta have it!	
	8	Unit 6. She'd never been abroad.	
	9	Unit 7. Time for a makeover!	
	10	Unit 8. My life would be great!	
	11	Unit 9. What would you have done?	
	12	Review 2	
13	Unit 10. Anything's possible!		

	14	Unit 11. What would have happened?
	15	Unit 12. He said he was a movie star!
	16	Review 3
キーワード	4-skills syllabus	
教科書・教材・参考書	Wilson, Ken & Boyle, Mike (2011). Smart Choice 3 2nd ed. OUP	
成績評価の方法・基準等	2回の試験(リスニング問題含む), 提出課題, 出席状況等を総合的に検討して評価する。 中間・学期末試験(リスニング試験含む)80%、 課題 10%、出席・授業中の発表 10%。	
受講要件(履修条件)	欠席5回以上は失格。	
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考(URL)	http://www.sconlinepractice.com	
備考(準備学習等)	CALL教室における自立学習、テキスト・コンパニオン・サイトでのオンライン学習が必要	



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



長崎大学 学務情報システム

NU-Web System

メニューへ
MENUログアウト
LOGOUT

シラバス関連 > シラバス参照 > シラバス検索 > シラバスイ覧 > シラバス参照

『 全学教育 』

タイムアウトまでおよそ1799秒です。

印刷



シラバス参照

LiveCampus

タイトル「2012年度シラバス」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_英コミⅢ**」
シラバスの詳細は以下となります。

戻る

参照URL

学期	後期	曜日・校時	木2
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20120590005023	科目番号	05900050
授業科目名	●英語コミュニケーションⅢ(2P2)		
編集担当教員	奥田 阿子		
授業担当教員名(科目責任者)	奥田 阿子		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	奥田 阿子		
科目分類	B科目 外国語 既習、外国語科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]125		
対象学生(クラス等)	2P2		
担当教員Eメールアドレス	a-okuda@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室			
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	質問受付時間:木曜日3限目 教員Eメールアドレス宛に質問も可		
授業のねらい	英語圏への留学、TOEICの受験などを想定し、大学生としてふさわしい実践的な英語の運用能力を養成します。		
授業方法(学習指導法)	この授業では、リスニング及び語彙の基礎力を養成することを目指します。教材の内容理解度及び学習ペース設定のため、毎週、小テストを実施します。授業中は、小テストの他にグループワークを取り入れ、グループでの発表に備えた作業を行ってもらいながら運用能力の養成を図ります。		
授業到達目標	各単語を逐一聞き取ろうとするのではなく、5語前後から成るフレーズに注目し、そのフレーズ全体の内容を理解するような姿勢でリスニング出来るようになること。また、情報収集を行ったものに対し、英語を用いて相手に伝えられるようになること。		
授業内容	回	内容	
	1	オリエンテーション	
	2	教材の説明、学習方法の説明	
	3	小テスト、グループワーク	
	4	小テスト、グループワーク	
	5	小テスト、グループワーク	
	6	小テスト、グループワーク	
	7	小テスト、グループワーク	
	8	小テスト、発表	
	9	小テスト、グループワーク	
	10	小テスト、グループワーク	
	11	小テスト、グループワーク	
	12	小テスト、グループワーク	
	13	小テスト、グループワーク	
	14	小テスト、グループワーク	
	15	小テスト、発表	
16	期末試験		

キーワード	
教科書・教材・参考書	Healing Our World
成績評価の方法・基準等	期末テスト、小テスト、学習態度を、おおよそ以下の比率で総合的に評価する。 期末テスト:20% 小テスト:30% 自習状況を含む学習態度:50%
受講要件(履修条件)	
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



タイトル「2012年度シラバス」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_英コミⅢ**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	木2																						
開講期間																									
必修選択	必	単位数	1.0																						
時間割コード	20120590005028	科目番号	05900050																						
授業科目名	●英語コミュニケーションⅢ(2F2)																								
編集担当教員	藤内 則光																								
授業担当教員名(科目責任者)	藤内 則光																								
授業担当教員名(オムニバス科目等)	藤内 則光																								
科目分類	B科目 外国語 既習、外国語科目																								
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目																						
教室	[全]322																								
対象学生(クラス等)	2Fc																								
担当教員Eメールアドレス	fujiuchi@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp																								
担当教員研究室	非常勤講師控室																								
担当教員TEL	095-840-2000(内線335)																								
担当教員オフィサー	外語大335研究室にて随時・要確認																								
授業のねらい	この授業では、伝達手段としての英語の基本的な技能と、特に読解能力と聴取能力の相関関係を解説した後、読解と聴解の能力を総合的に向上させる訓練を行う。最終的には、「読んで分かる英語」から「聞いて分かる英語」へと、受講生の英語力を向上させる。																								
授業方法(学習指導法)	CALL教室の機材を適宜活用し、与えられた英語のテキストの聴解に音読を加えた訓練方式。																								
授業到達目標	CNN放送を聞いて内容を説明できる程度の英語運用能力の獲得を目的とする。																								
授業内容	<p>教科書は主教材と副教材の二種類を使用する。 授業開始当初は副教材を用い、基本的な英語の聴解とディクテーション、適宜発音指導を行い、採点結果を出席した証拠として回収するとともに、提出物として平常点に加算する。 主教材は、主に現代日本の時事に関するNHK BSのニュースを題材にしたDVD教材。第1回目のオリエンテーションにて受講生のリクエストを募り、以降、そのリクエストどおりに授業を進行させる。教科書にある英作文を課題として課し、提出させる。受講生は主教材付属のDVDを見て、事前に予習をすること。 授業の進行が明確に分かっているので、欠席者は次の授業の準備をすること。DVDを見る装置が自宅にない場合でも、図書館を利用するなどの方策を自分で考えること。教科書は設問に解答するだけでなく、本文の音読を予習や復習に取り入れること。1回視聴して内容を理解出来る程度の復習を前提にします。授業も最終試験も難しいので、常に復習を怠らないように。 定期試験 16回目開講時</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>10/4 オリエンテーション、座席決定、教科書販売、期末試験の仕様発表、講義の心得確認</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>10/11 副教材 Unit 1、主教材 教科書 Unit 1、新章へ</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>10/18 副教材 Unit 3、主教材 教科書継続、または新章へ</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>10/25 副教材 Unit 4、主教材 教科書継続、または新章へ</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>11/1 副教材 Unit 5、主教材 教科書継続、または新章へ</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>11/8 副教材 Unit 6、主教材 教科書継続、または新章へ</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>11/15 副教材 Unit 7、主教材 教科書継続、または新章へ</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>11/22 副教材 Unit 8、主教材 教科書継続、または新章へ</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>11/29 副教材 Unit 9、主教材 教科書継続、または新章へ</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>12/6 副教材 Unit 11、主教材 教科書継続、または新章へ</td> </tr> </tbody> </table>			回	内容	1	10/4 オリエンテーション、座席決定、教科書販売、期末試験の仕様発表、講義の心得確認	2	10/11 副教材 Unit 1、主教材 教科書 Unit 1、新章へ	3	10/18 副教材 Unit 3、主教材 教科書継続、または新章へ	4	10/25 副教材 Unit 4、主教材 教科書継続、または新章へ	5	11/1 副教材 Unit 5、主教材 教科書継続、または新章へ	6	11/8 副教材 Unit 6、主教材 教科書継続、または新章へ	7	11/15 副教材 Unit 7、主教材 教科書継続、または新章へ	8	11/22 副教材 Unit 8、主教材 教科書継続、または新章へ	9	11/29 副教材 Unit 9、主教材 教科書継続、または新章へ	10	12/6 副教材 Unit 11、主教材 教科書継続、または新章へ
回	内容																								
1	10/4 オリエンテーション、座席決定、教科書販売、期末試験の仕様発表、講義の心得確認																								
2	10/11 副教材 Unit 1、主教材 教科書 Unit 1、新章へ																								
3	10/18 副教材 Unit 3、主教材 教科書継続、または新章へ																								
4	10/25 副教材 Unit 4、主教材 教科書継続、または新章へ																								
5	11/1 副教材 Unit 5、主教材 教科書継続、または新章へ																								
6	11/8 副教材 Unit 6、主教材 教科書継続、または新章へ																								
7	11/15 副教材 Unit 7、主教材 教科書継続、または新章へ																								
8	11/22 副教材 Unit 8、主教材 教科書継続、または新章へ																								
9	11/29 副教材 Unit 9、主教材 教科書継続、または新章へ																								
10	12/6 副教材 Unit 11、主教材 教科書継続、または新章へ																								

	11	12/13 副教材 Unit 12、主教材 教科書継続、または新章へ
	12	12/20 副教材 Unit 13、主教材 教科書継続、または新章へ
	13	1/10 副教材 Unit 14、主教材 教科書継続、または新章へ
	14	1/17 副教材 Unit 21、主教材 教科書継続、または新章へ
	15	1/24 副教材 Unit 24、主教材 教科書終了
	16	2/7 定期試験 90分、提出物最終締め切り
キーワード		
教科書・教材・参考書		主教材：What's on Japan 6(金星堂) 副教材：Campus Listening(成美堂)
成績評価の方法・基準等		全て主教材より 定期試験80%(単語理解8%・聴解 8%、本文内容ディクテーション 21%(部分点なし)、内容理解23%、課題英作文 20% (部分点あり)) 平常点20%(英作文提出と副教材解答結果提出)
受講要件(履修条件)		教科書を購入し、英和辞典を必ず携行して授業に臨むこと。
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		英語の実用的運用能力を、訓練を通じて向上させる。また、英語の自学に必要な勉強・訓練方法も伝授する。実際に英語の実力を付けることで教科書の内容を理解させるのが目的なので、授業の予復習をしない学生の単位成立を保証しない。
備考(URL)		
備考(準備学習等)		DVDを見て、放送を一通り音読で真似してみる程度の事前訓練をしてください。





シラバス関連 > シラバス参照 > シラバス検索 > シラバスイ覧 > シラバス参照

『 全学教育 』

タイムアウトまでおよそ1798秒です。

印刷



シラバス参照

タイトル「2012年度シラバス」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_英コミⅢ**」
シラバスの詳細は以下となります。



戻る



参照URL

学期	後期	曜日・校時	木2
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20120590005029	科目番号	05900050
授業科目名	●英語コミュニケーションⅢ(2F1)		
編集担当教員	島山 均		
授業担当教員名(科目責任者)	島山 均		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	島山 均		
科目分類	B科目 外国語 既習、外国語科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]大教センター2F		
対象学生(クラス等)	2F1		
担当教員Eメールアドレス	hatakeyama@n-junshin.ac.jp		
担当教員研究室	非常勤講師室		
担当教員TEL	095-846-0084		
担当教員オフィスアワー	木曜日の授業の前後、非常勤講師室にて		
授業のねらい	Voice of Americaを素材として作成された教材を使い、主としてlistening、speaking、reading、の能力の向上を目的とする。特に音読の練習を重視し、英文を自然に読める能力を身に付ける。		
授業方法(学習指導法)	小テスト、テキストに従いlistening、reading、音読(発音、イントネーション、リズム能力)向上のために演習。		
授業到達目標	まとまった内容の英文を自然な英語の発音でスムーズに読め、かつ暗唱できる。 まとまった内容の英文を細部までしっかりと内容を理解できるように聞き取りれる。		
授業内容	テキストにしたがって英語での演習を行う。毎回、小テストまたは音読テストを行う。 必ず予習をしてくる事。		
	回	内容	
	1	Orientation 授業の目的、概要、成績評価の基準などの説明	
	2	Unit 1 小テスト、単語確認、内容確認、聞き取り練習、音読練習	
	3	Unit 2 小テスト、単語確認、内容確認、聞き取り練習、音読練習	
	4	Unit 3 小テスト、単語確認、内容確認、聞き取り練習、音読練習	
	5	Unit 4 小テスト、単語確認、内容確認、聞き取り練習、音読練習	
	6	Unit 5 小テスト、単語確認、内容確認、聞き取り練習、音読練習	
	7	Unit 6 小テスト、単語確認、内容確認、聞き取り練習、音読練習	
	8	Unit 7 小テスト、単語確認、内容確認、聞き取り練習、音読練習	
	9	Unit 8 小テスト、単語確認、内容確認、聞き取り練習、音読練習	
	10	Unit 9 小テスト、単語確認、内容確認、聞き取り練習、音読練習	
	11	Unit 10 小テスト、単語確認、内容確認、聞き取り練習、音読練習	
	12	Unit 11 小テスト、単語確認、内容確認、聞き取り練習、音読練習	
	13	Unit 12 小テスト、単語確認、内容確認、聞き取り練習、音読練習	
	14	Unit 13 小テスト、単語確認、内容確認、聞き取り練習、音読練習	
	15	音読テスト	
16	定期試験(筆記試験)		

キーワード	
教科書・教材・参考書	安波誠祐・Richard Levin (2011) The Global Health and Environment: VOA Topics from Around the World 松柏社.
成績評価の方法・基準等	毎時間実施の小テスト----40% 音読テスト-----20% 期末試験-----40%
受講要件(履修条件)	
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



長崎大学 学務情報システム

NU-Web System



シラバス関連 > シラバス参照 > シラバス検索 > シラバスイ覧 > シラバス参照

『 全学教育 』

タイムアウトまでおよそ1799秒です。 [印刷](#)

シラバス参照

タイトル「2012年度シラバス」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_英コミⅢ**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	木2
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20120590005031	科目番号	05900050
授業科目名	●英語コミュニケーションⅢ(2F3)		
編集担当教員	上村 俊彦		
授業担当教員名(科目責任者)	上村 俊彦		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	上村 俊彦		
科目分類	B科目 外国語 既習、外国語科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]大教センター3F		
対象学生(クラス等)			
担当教員Eメールアドレス	yandi@sun.ac.jp		
担当教員研究室	非常勤講師控え室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー			
授業のねらい	英語の4技能(「読み」、「聞き」、「書き」、「話す」)の向上のための演習をおこなう。		
授業方法(学習指導法)	英文テキスト(Sound Good, 多読用英語リーダー)と音声CD教材を使用して、英文の大意を取りながら読むこと(Extensive Reading)や英語音読(Shadowing)の演習をおこなう。また、基本的な構文や出現頻度の高い語彙を用いた英文作成(Writing)や発話の演習をおこなう。		
授業到達目標	中学・高校で学習した英語の基本的な構文やコミュニケーション必須語彙に習熟し、英語の発信技能の向上を目指す。		
授業内容	回	内容	
	1	Introduction CEFR mapping	
	2	Unit 1. Something meaningful Introduction to Extensive Reading (ER)	
	3	Unit2. What's your big news? ER 1	
	4	Unit 3. I can party all night. ER 2	
	5	Unit 4. Everyone has pet peeves ER 3	
	6	Unit 5. Let's keep going! Mid-term Quiz	
	7	Unit 6. There was just one problem. ER 4	
	8	Unit 7. That's a lot of chillies! ER 5	
	9	Unit 8. You can really fly! ER 6	
	10	Unit 9. What you wear says a lot. ER 7	

	11	Unit 10. What it takes ER 8
	12	Unit 11. When the earthquake struck. ER 9
	13	Unit 12. It's the right thing to do. ER 10
	14	Review 1
	15	Review 2
	16	Extensive Reading Summary
キーワード	extensive reading, shadowing	
教科書・教材・参考書	Beatty, K & Tinkler, P. (2008) Sounds Good 4. Pearson-Longman	
成績評価の方法・基準等	中間・学期末試験(リスニング試験含む) 80% 課題 10% 出席・授業中の発表 10%	
受講要件(履修条件)	欠席5回で失格	
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考(URL)	http://www.sounds-goog-online.com	
備考(準備学習等)	CALL教室や自宅でのオンライン学習サイトでの自立学習が必要。毎週クラス開始時に、前回学習内容に関するヒアリングテストを実施する。	





タイトル「2012年度シラバス」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_英コミⅢ**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	金1
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20120590005024	科目番号	05900050
授業科目名	●英語コミュニケーションⅢ(2E3)		
編集担当教員	廣江 顕		
授業担当教員名(科目責任者)	廣江 顕		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	廣江 顕		
科目分類	B科目 外国語 既習、外国語科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]322		
対象学生(クラス等)	経済(2E3)		
担当教員Eメールアドレス	ahiroe@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室			
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	Emailにより質問を受け付ける		
授業のねらい	短時間で素早く英文の論理的な流れを捉える力を養成する。また、経済及び経済関連分野の文献を用いることにより、専門分野への橋渡しとなる基礎力を身につける。		
授業方法(学習指導法)	前もって学生には英語で書かれている経済及び経済関連分野の文献(あるいはその一部)を配布し、担当者を決めて授業時には要約を発表してもらう。その後、発表内容に関して質問を行うものとする。一方で、3回に1回程度、英語で授業で扱った内容を踏まえながらエッセイを書いてもらう。最終的には、エッセイをもとにプレゼンテーションをおこなってもらう。		
授業到達目標	短い時間で素早く英文の大意と論理の流れ捉えるようになり、さらに各自の主張を英語でまとめることを可能にする。		
授業内容	回	内容	
	1	Orientation (self-introduction)	
	2	経済問題 (1)	
	3	経済問題 (2)	
	4	経済問題 (3)	
	5	Essay Writing (1)	
	6	経済問題 (4)	
	7	経済問題 (5)	
	8	経済問題 (6)	
	9	Essay Writing (2)	
	10	経済問題 (7)	
	11	経済問題 (8)	
	12	経済問題 (9)	
	13	Essay Writing (3)	
	14	Presentation&Discussions (1)	
	15	Presentation&Discussions (2)	
16	定期試験		

キーワード	reading, essay writing, education
教科書・教材・参考書	プリント配布
成績評価の方法・基準等	授業時の発表(20%)、エッセイの提出(50%)、定期試験(30%)
受講要件(履修条件)	出席は定期試験を受験する前提要件となる。4回以上の欠席で定期試験の受験資格を失う。20分以上の遅刻・早退は欠席とみなす。
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	英文の論理と大意を素早く捉え、英語エッセイを通して各自の主張が行える。
備考(URL)	
備考(準備学習等)	英語の辞書を持参すること(電子辞書も可)



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



タイトル「2012年度シラバス」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_英コミⅢ**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	金 1
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20120590005025	科目番号	05900050
授業科目名	●英語コミュニケーションⅢ(2E1)		
編集担当教員	前川 智子		
授業担当教員名(科目責任者)	前川 智子		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	前川 智子		
科目分類	B科目 外国語 既習、外国語科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]新棟4		
対象学生(クラス等)	2E1		
担当教員Eメールアドレス	t-mae@asca-iso.jp		
担当教員研究室	非常勤講師室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスマワー	授業終了後10分間		
授業のねらい	映画を楽しみながら、英語コミュニケーション能力向上を目指す。		
授業方法(学習指導法)	DVDは12のユニット(一回あたり10分程度)に分かれているので、原則として1ユニットを一回の授業で学習する。学生同士がペアになって活動することが多い。Interactive True or False/ Interactive Listening Check: DVDやCDの内容が分かっているかを確認しながらペアで活動する。問題に答え、A-Bのペアで英語で確認しあう。Let's Watch and Listen!: リスニングの練習と共に会話練習を行う。Exoressuib Check: 映画から基本的な英語表現を学び、実際の会話で応用できるように練習する。Intermission: 時間に余裕があれば、このコーナーで英米文化に触れる。授業中の簡単な指示は英語で行うので、リスニング練習の一部と捕らえ、集中してほしい。学生もペアやグループ内で話すときは出来るだけ英語で話すように心がけ、授業時間全体を英語コミュニケーションの時間としたい。各ユニットの映画ストーリーを英語で書いて(パソコン打ち)提出することを毎週の課題とする。		
授業到達目標	リスニング力向上。基本的な会話表現を覚え、使えるようになる。映画の内容を簡単な英語で話すことができる。		
授業内容	第1回 Orientation 教科書販売、講義の進め方、Unit1 第2回 Unit 1: Do you believe in magic? 第3回 Unit 2: Humidity 第4回 Unit 3: A game of chance 第5回 Unit 4: Halloween 第6回 Unit 5: Colcannon 第7回 Unit 6: I'm in love with anything that lives 第8回 Unit 7: Desperado 第9回 Unit 8: Masselo Masela 第10回 Unit 9: Do you believe in Aliens? 第11回 Unit 10: Pray for the new baby 第13回 Unit 11: Mateo and the new born baby 第14回 Unit 12: Say goodbye to Frankie, Dad 第15回 Review 第16回 期末試験		
キーワード	Speaking, listening		
教科書・教材・参考書	「In America」(英宝社、2,200円)		
成績評価の方法・基準等	期末試験(60%) / 宿題・story-writing(24%) / 授業中のペア活動(16%)		
受講要件(履修条件)	毎回の課題提出や授業中の活動が重要視されるので全回出席するように心がけよう。欠席が5回となると期末テストを受ける資格を失う。30分以上の遅刻・早退は原則として欠席扱いとする。		

本科目の位置づけ	
学習・教育目標	積極的に話を聞く・話す態度が身に付く
備考(URL)	
備考(準備学習等)	毎回宿題を出すので、それを行った上で授業に臨むこと。



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



シラバス関連 > シラバス参照 > シラバス検索 > シラバスイ覧 > シラバス参照

『 全学教育 』

タイムアウトまでおよそ1799秒です。 [印刷](#)

シラバス参照

LiveCampus

タイトル「2012年度シラバス」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_英コミⅢ**」
シラバスの詳細は以下となります。

戻る



参照URL

学期	後期	曜日・校時	金1
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20120590005032	科目番号	05900050
授業科目名	●英語コミュニケーションⅢ(2E2)		
編集担当教員	山崎 美也子		
授業担当教員名(科目責任者)	山崎 美也子		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	山崎 美也子		
科目分類	B科目 外国語 既習、外国語科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教]13講義室		
対象学生(クラス等)	経済(2E2)		
担当教員Eメールアドレス	usa-385@i-next.ne.jp		
担当教員研究室	非常勤講師室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスパワー	授業終了後		
授業のねらい	短めのパラグラフを聴き、内容、文法などを把握できる力を養うこととさらに会話で自分の意見を述べるパターンを習得することをねらいとする。		
授業方法(学習指導法)	毎回1章ずつ進めていくので、必ず予習をして授業に参加すること。		
授業到達目標	多様な形の練習問題を通して、リスニング、文法、把握力を養うことを目標とします。		
授業内容	毎回、Reading Comprehension → Sentence Completion → Listening → Conversation → Further Activity の流れで行うものとする。		
	回	内容	
	1	オリエンテーション	
	2	Chapter 1: The Powerful Influence of Japanese Culture	
	3	Chapter 2: Revitalizing Japantown in San Francisco	
	4	Chapter 3: Disney's World	
	5	Chapter 4: The Ups and Downs of Life	
	6	Chapter 5: The Healing Power of Music	
	7	Chapter 6: The Healing Power of Nature	
	8	中間のまとめ	
	9	Chapter 7: Like Asking for the Moon	
	10	Chapter 8: Is Chaplin a Genius or a Hard Worker	
	11	Chapter 9: Pioneers	
	12	Chapter 10: Architects of the First Rank	
	13	Chapter 11: Do Something Different from Others	
	14	Chapter 12: Make the Best of the Situation	
	15	Chapter 13: Merits and Demerits as Two Sides of the Same Coin	
16	全授業の総括(試験を含む)		
キーワード			

教科書・教材・参考書	教科書: People with Bright Prospects for the Future (三修社)
成績評価の方法・基準等	中間テスト30%、定期試験50%、毎回の提出物20%
受講要件(履修条件)	
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



シラバス参照

タイトル「2012年度シラバス」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_英コミⅢ**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	金1																
開講期間																			
必修選択	必	単位数	1.0																
時間割コード	20120590005037	科目番号	05900050																
授業科目名	●英語コミュニケーションⅢ(2E4)																		
編集担当教員	藤本 ゆかり																		
授業担当教員名(科目責任者)	藤本 ゆかり																		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	藤本 ゆかり																		
科目分類	B科目 外国語 既習、外国語科目																		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目																
教室	[全]大教センター3F																		
対象学生(クラス等)	2E4																		
担当教員Eメールアドレス																			
担当教員研究室	非常勤講師控室																		
担当教員TEL	095-819-2078 (全学教育事務室)																		
担当教員オフィスパワー	金曜日10時30分より																		
授業のねらい	基本的で実用的な英会話の表現を習得し、表現の基礎の定着を図る。話すことと聴くことの技能を身に着ける。ダイアローグの暗記をするのみではなく、構文や文法に留意して、基本的な理解力を確かなものにする。語彙を増やし、文法を理解し表現の感覚を磨く。対話力を向上させ、自分の言いたいことを表現できる豊かな表現力へと応用できる能力を養う。自分の言いたいことを表現できるコミュニケーションに対する意欲を持ち、自主的に話せるようになることを目的とする。英語の歌を通して、英米の文化を学ぶ。																		
授業方法(学習指導法)	英語のフレーズとダイアローグの詳細な解説を行い、文法と構文、及び表現の指導をする。このことによって、ダイアローグを容易に覚えらるようになる。発音の練習をし、表現を声に出して言う。声に出すことで覚えたダイアローグを使用してみる。リスニングの指導を行う。CDを活用し、何度も聴き、リピーティングを行うことで、スキルの定着を図る。																		
授業到達目標	基本的・実用的な英文や英会話の表現を覚え、話すことができる。語彙力を増強することができる。英語の構文・文法・表現について理解を深めることができる。美しい発音ができ、リスニングの能力を養う。表現を声に出して述べるができる。基礎を固めた上で、自分の言いたいことを表現できるようになる。語彙を増やし、文法を身に着け、表現の応用ができるようになる。英会話とコミュニケーションに対する関心・興味を持ち、各自が目標を定めて積極的に学習の場を求めていく態度を養う。英語の歌や日常会話を通して、ダイアローグの背景や、英米の文化の理解を深めることができる。また、各自の現在の能力をさらに向上させるようにする。																		
授業内容	<p>英米の歌にみられる英語表現を中心として、対話形式の実践的なダイアローグについて、CDを聴きながら、主要な表現・構文・文法の指導を行う。構文や文法を理解することが、会話での表現の習得においても、容易にして有効であるというアプローチを進めていく。英単語の発音の仕方を指導し、練習を行う。文全体の発音についても指導と練習を繰り返し行い、定着を図る。さらに、ダイアローグの表現を言えるように練習をし、覚え、ひいては話す能力を養う基礎を固めていく。また、話す能力と聴く能力は表裏一体であるという認識に基づいて、リスニングの方法を説明し、実践してみる。英米の歌やダイアローグの背景について解説する。歌を通して、英会話とコミュニケーションに対する意欲をさらに持てるように指導していく。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>10月 5日 導入・授業内容の説明</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>10月12日 UNIT 1・2</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>10月19日 UNIT 3・4</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>10月26日 UNIT 5・6</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>11月 2日 UNIT 7・8</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>11月 9日 UNIT 9・10</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>11月16日 UNIT 11・12</td> </tr> </tbody> </table>			回	内容	1	10月 5日 導入・授業内容の説明	2	10月12日 UNIT 1・2	3	10月19日 UNIT 3・4	4	10月26日 UNIT 5・6	5	11月 2日 UNIT 7・8	6	11月 9日 UNIT 9・10	7	11月16日 UNIT 11・12
回	内容																		
1	10月 5日 導入・授業内容の説明																		
2	10月12日 UNIT 1・2																		
3	10月19日 UNIT 3・4																		
4	10月26日 UNIT 5・6																		
5	11月 2日 UNIT 7・8																		
6	11月 9日 UNIT 9・10																		
7	11月16日 UNIT 11・12																		

	8	11月30日	UNIT 13・14
	9	12月 7日	UNIT 15・16
	10	12月14日	UNIT 21・22・23・24
	11	12月21日	UNIT 19・20
	12	1月 4日	UNIT 17・18
	13	1月11日	UNIT 25・26
	14	1月25日	UNIT 27・28
	15	2月 1日	UNIT 29
	16	定期試験	
キーワード	英米の歌 / ダイアログ / 文法の強化 / 英語表現の容易な定着		
教科書・教材・参考書	『英米人・日本人のこころの歌』(CD付き) (小笠原真司 / ウィリアム・コリンズ: 英光社) 英和辞典(電子辞書)を必携すること。		
成績評価の方法・基準等	定期試験を筆記で行います。主に定期試験により評価をします。 それに授業中の活動を加えます。 定期試験90%、授業中の発表や活動10%を基準とします。 また、受講中の態度を非常に重視します。		
受講要件(履修条件)	授業には全回出席しましょう。発音など声を出しての活動は、積極的に参加することを期待します。必ず予習をして臨んで下さい。		
本科目の位置づけ	有用な英語の表現や日常会話を学び、役立てる。		
学習・教育目標	英米の歌と対話形式により、実践的かつ有用な英語表現を身に着ける。		
備考(URL)			
備考(準備学習等)	必ず予習をして授業に出席して下さい。予め英単語の意味を調べておき、問題を解いておきましょう。		

